京城日報

五日夕刊

定價 本紙 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 (郵稅前金)三ヶ月金壹圓六拾五錢 ……圓七拾錢 ▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別欄內一行金壹圓貳拾錢 ▲場所指定は一行金壹圓七拾錢 ▲三號活字は五號活字の一行は五號活字の二行に相當す
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 卷口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 編輯用三四番 營業用二三〇番 振替貯金口座京城三六〇番

○妥協案と同志會最高幹部

同志會最高幹部加藤總理、河野、箕浦、尾崎、若槻等の各總務は四日午後農相官邸に參集し妥協等に關し十二時過まで協議したるが當夜加藤男より妥協案に關し大隈首相と會見の內容に關し報告する所あり倚ほ凝議したる結果五日午前十時本部に代議士大會を開き妥協案に對する態度を公式に決定する筈なるが大體妥協案を承認し時局救濟に努む可しと觀測さる(東京特電)

▲政府上院妥協案正文

政府並びに貴族院との間に成立したる妥協案の正文左の如し(東京特電)

一、國債を以て外國債を償還する場合に於ては國債整理基金法第五條の規定に準據せざるを得る事(以上の趣旨を以て法律の改正條文の起草はすべて政府に一任する事)

二、一般會計に於て二千萬圓の內國債を募集し國債整理基金に繰入るゝ追加豫算を提出する事

○永寧府雲南軍に歸す

重慶來電に據れば四川第二師團長劉遵洪は雲南軍に通じたる爲め永寧府は一月三十一日何等の戰鬪も無く雲南軍に歸したりと(北京特電)

○南北動亂と奉天軍

北支那各地に駐屯せる軍隊の中第十師は夙に上海に赴き第七師全部及び第八師一旅は漢口に張家口の第一師を始め察哈爾及び熱河都統麾下の軍は匪を防ぐに全力を注ぎて他を顧みるの遑なく目下北京の擁護に當れるは拱衛軍及び保定天津の駐屯軍のみにして防備著しく薄弱となりしのみならず雲南軍及び叛匪の討伐に對しても兵力を增加せざるべからざる必要あり、是れ北京政府が最も苦心しつゝある處にして奉天軍を除きて此必要に應じ得べきものなし陸軍部は頃日來此問題に關し段奉天將軍と商議中なりしが最近に至り交涉頗る進みしもの如く北鎭縣に駐屯せる馮德麟麾下の第二十八師より一個聯隊を直隷省に入れ鐵道沿線を守備せしむる事となり聯隊長史廻元其任に當り數日中に出發すべし第廿七師長張作霖が綏遠都統たるべき交涉を受け居れりとの風評も恐らく根據なき浮說にあらず張が此交涉に應ずべきや否やは別問題とし中央政府が彼の入關を熱望し居れる事は上記の形勢より明かに推想するを得べし斯くの如く奉天軍の地位は內亂の蔓延に伴れて頗る重要視せられ其進退は直ちに天下の安危に關するに至れり去れば段芝貴を始め張勳馮等諸將と中央政府との關係は今後大ひに中外の耳目を惹くの力あるべし(奉天電報)

○支露中立違反交涉

奉天支那官憲は露國商人が二十萬元を投じて三千頭の牛を買入れ滿鐵附屬地に於て之を屠殺し軍隊に供給する目的を以て北送しつゝありしに對し露國領事に中立違反の抗議を申出でしが露人が之を無視し屠殺を中止せざる爲め更に嚴重なる交涉を開始せり(奉天電報)

○滿洲會審裁判 準備

日支新條約に據り南滿洲に於ける日支兩國人土地係爭事件の審判機關として上海の會審公堂に則りたる裁判所を組織する事となれるが奉天官憲は種々詮考の結果鐵嶺、錦州、撫順、洮南、復州及び本溪湖の六縣を選びて地方審判廳を設立し將來會審機關開設の準備とするの案を立て司法部に交涉して認可を得たり審判廳の組織は廳長一名推事三名檢察廳は廳長及び檢察官各一名を任用する筈なるが奉天省に於ても中央に於ても經費の出所なきに苦しみ先づ洮南、鐵嶺、錦州の三地に止むる事とし廳長三名は既に決定したるも尙財源を發見する能はず目下中央と地方との間に押問答中なり吉林官憲の意見は該省は奉天と事情を異にせるが故に審判廳を新設せず現在の各廳に適當なる人材一名宛を增加すべしと(奉天電報)

○土國皇儲自殺說と米紙

紐育諸新聞紙は土耳其皇儲ユスフイゼッヂンの自殺を疑ひ皇儲は親英論者にして聯合國と單獨媾和を主張せるを以て或は暗殺されたるにはあらざるやを仄めかしつゝあり(倫敦電報)

○獨の北佛戰場大攻擊準備

獨逸軍は北佛戰場に於て大に攻勢に出でんと準備し新に三千の砲門を戰地に運搬したり(倫敦電報)

○豫算審査中止

豫算案は附帶決議とし同案關係法案其他の下院通過迄は上院豫算審査會を中止したり(東京電報)

○法王特使動靜

羅馬法王特使ペトリー大司教は五日午前九時吉田式部官と同乘馬車にて帝國ホテルを出で帝國大學に至り山川總長の案內にて各教室其他を參觀し午後より上野公園博物館及び淺草公園を見物し同夜石井外務大臣主催の夜會に列席す可し(東京電報)

○紀元節還幸

葉山御用邸御避寒中に在らせらるゝ聖上陛下には來る十日午後東京に還幸翌十一日の紀元節に付御親祭及び正午宮中豐明殿に於て內外臣僚に對し餉宴を賜はり即日葉山御用邸に行幸遊ばさるゝ旨御治定相成りたりと洩れ承る(東京電報)

○外相特使饗應

五日石井外相は羅馬法王特使を官邸に招待し晚餐會を催ふす(東京電報)

○山縣元帥病氣

歸京中の山縣元帥腸加答兒に罹り平井博士の往診を受けたるも輕微にして經過良好なりしと(東京電報)

○葉山行啓 皇后陛下

並に澄宮崇仁親王殿下には八日葉山に行啓の旨仰出されたり(東京電報)

○川合代議士失格

代議士川合直次氏失格に付次點者中野貫一氏四日當選せり(東京特電)

◎總督茶菓饗應

寺內總督は入京中なる各道第一部長並に關係各部長、局長、課長等を五日午後六時三十分より官邸に招き茶菓の饗應を爲せり

◎總督誕辰內宴

五日は寺內總督の誕辰なるより總督は午後八時三十分より近親者十數名並に入京中なる各道第一部長を官邸に招き自祝の夜會を催す筈なるが近親者は夫人帶同にて種々の餘興あり

◎一部長會同(第五日)

各道第一部長會同第五日なる五日は事務打合せの豫定なりしことゝて午前は各自總督府內の部局に就きて事務の打合せを爲し午後一時より第二會議室に開催、總督府よりは寺內總督、山縣政務總監以下各部長官、局長、課長等出席し、總督より指示及び訓旨ありて午後三時散會したり

◎水先業の民營

鴨綠江下口に於ける船舶の出入に對しては從來遞信局鴨綠江海事出張所に於て好意的に水先案內の勞を取り來りたるが客年末朝鮮總督府水先令の發布と共に民業に移すことゝなりたれば三日頃の解氷期を待ちて同出張所長三浦氏官を辭し二三の同業者と共に水先案內の業を開く筈にて同時に海事出張所は航路標識の監督其他一般海事々務の任に當る可し

◎一月京城貿易 總額一百九萬圓

▲輸移出入額 一月中の京城貿易は總額百八萬七千百四十八圓にして其內輸移出品價九萬二千二百三十九圓、輸移入品價九十一萬四千九百九圓を示し八十二萬二千六百七十圓の入超に了れり

▲貿易重要品 今當月中の輸移出入重要品を擧ぐれば左の如し

▲輸移出重要品

品名	價格
牛皮	八〇、一一九
煙草	二、一〇二
其他	一〇、〇一八
合計	九二、二三九

輸移入主要品

品名	價格
小麥粉	三、六七二
果實類	三一、四四〇
罐詰類	三、一八七
砂糖類	三八、八〇三
清酒	一一、三七五
其他酒類	四、七四一
繰綿類	一、三二六
綿糸	四六、六二五
生金巾類	一一五、一七一
晒金巾類	六九、二七九
天竺布	二、八三一
日本木綿	五、七七〇
毛織物	一二、七〇四
靴及履物	五、九一四
洋紙	二一、〇九八
諸文具	七、七三〇
書籍及雜誌	七、八九七
藥類	一、〇五八
其他紙類	四〇、六四九
諸機械類	三〇、四〇五
煙草	一〇、四七五
木製品	四、二八五
小包郵便物	一一六、六八九
其他	三四〇、四四四
合計	九一四、九〇九

◎運賃値上圓滿

朝鮮郵船會社が客月來南鮮沿岸の一部運賃値上を發表したるに釜山輸入品組合等にては多少反對の意嚮を示したるも其後會社側が創業以來始めての値上にても且つ戰時に際し物價騰貴の關係上餘儀なき結果に出るものなることを諒解したるため圓滿に解決し本月一日より實行後の成績に就て考ふるも順當に運び居るものゝ如しと

◎炭疽豫防注射

京畿道にては客月十六日より長湍郡內の大南及び中面方面に於て炭疽疫の豫防注射施行中なりしが更に來る十二日より富川郡一圓に亘り二十六日頃迄豫防注射を行ふ筈なるが鮮人側の畜牛者の喜び多大なりと

◎仁川商業會議所豫算委員會延期

仁川商業會議所豫算委員會は五日午後一時より開會する筈なりしが都合により七日午後一時より同所樓上にて開會する事に變更せり

◎仁川の海員試驗

遞信局仁川出張所にては來る十日より船舶職員試驗志望者三十名の爲め海員試驗を行ふ可しと

◎鳥忠郵便と自動車

鳥致院忠州間の郵便物を自動車にて遞送することに就ては數個月前より忠州在住鮮人原英一郎外一名にて遞信局に請願中なりしが現に自動車部開始中のものにて遞信局に於て其成績を驗證したる後に非れば認可せざる理を以て書類却下されたるも目下再願中なるが如く報ずるものある

大邱

▲慶北大豆實收

慶北道に於ける大正四年度大豆實收は二十九萬九千八百九十八石にして是が耕作反別四萬八千三百八十七町六反なりしが是を三年度に比し多少の增收あり旱天なりしに拘らず品質又相當に良好なりしと

▲慶北雜穀收穫

大正四年度慶北雜穀收穫中粟蕎麥等の作付反別は前年に比し著しく增加を示せるは水稻未挿秧地に代用作物として栽培せし結果に依り粟稗黍蜀黍蕎麥等の反當收量前年に比し減少せるは旱魃の被害に基因す今一反步收穫高を揭ぐれば左の如し

府郡別	粟(石)	稗	黍	蕎麥
大邱	七三三	七〇〇	六〇六	[illegible]
達城	八六四	九〇〇	七三六	[illegible]
軍威	九一九	五五五	七七一	[illegible]
義城	七七二	—	—	[illegible]
安東	七八一	—	六一三	[illegible]
靑松	一、三六一	—	一、〇〇〇	[illegible]
英陽	九四五	九〇〇	八〇〇	[illegible]
盈德	一、〇一四	—	八〇〇	[illegible]
迎日	七二〇	—	七〇〇	[illegible]
慶州	一、一二〇	一、〇九〇	一、〇九〇	[illegible]
永川	一、〇〇〇	—	六〇〇	[illegible]
淸道	八一一	—	八一〇	[illegible]
慶山	七八六	—	一、二一五	[illegible]
高靈	一、三〇六	八一四	六二一	[illegible]
星州	八三四	八二〇	四〇〇	[illegible]
漆谷	九八〇	四八一	—	[illegible]
金泉	九二七	—	九一四	[illegible]
善山	八一〇	—	六〇〇	[illegible]
尙州	六三二	—	五二七	[illegible]
聞慶	八三五	—	七二〇	[illegible]
醴泉	七一七	—	四一二	[illegible]
榮州	八四三	—	七七六	[illegible]
奉化	八二六	—	六六七	[illegible]
鬱陵	五七七	—	八〇〇	[illegible]
計	八五九	八九六	六七九	[illegible]

▲御眞影傳達式

大邱公立小學校に御下賜の御眞影は四日午後四時五分大邱驛著の列車にて著御停車場には李慶北道長官、吉村第二部長、竹崎府尹、赤澤小學校長及び其他有志の奉迎あり先づ道廳に入御直ちに傳達式あり李道長官より赤澤校長に傳達し五日は小學校に於て嚴肅なる奉安式を擧行せり

▲寒天製造狀況

慶北迎日郡新岩洞寒天製造所は從來總督府直營なりしが客年より同所職工たりし中谷長太郎の個人經營となり當期間に於ける製造狀況は客年十一月二十八日製造に着手し今日に至る製造額は二千五百斤、中一千斤は內地に移出せり本品の販路は支那を主とするも昨年來日支交涉問題の爲め下落し目下一斤上八十錢下六十錢位にして庫品は一千五百斤、尙ほ本年末までの製造見込額は三千斤內外なりといふ

▲金泉自動車開通

京城織居自動車部金泉支部にては愈々二月一日より金泉醴泉間直通試乘を爲し慶北支局へも案內ありたるが乘車賃金は金泉より玉山まで一圓十錢尙州まで一圓九十錢咸昌まで二圓九十錢龍宮迄三圓六十五錢醴泉まで四圓六十錢而して運轉時間は左の如し

驛	列車	時刻
金泉發(北行)	一番車	午前八時
×玉山發	同	約九時
尙州著	同	九時五十分
金泉發(北行)	二番車	午後三時
×玉山發	同	約四時
尙州著	同	四時五十分
尙州發	同	五時
×咸昌發	同	約六時
×龍宮發	同	約六時四十五分
醴泉著	同	七時四十分
醴泉發(南行)		午前八時三十分
×龍宮發		同 約九時二十五分
×咸昌發		同 約十時十分
尙州著		同 十一時十分
尙州發		正午十二時
×玉山發		午後約十二時五十分
金泉著		同 一時五十分

○本表中×印の箇所は乘降客なきときは停車せざること可有之

▲大邱稅關價格變更

大邱稅關出張所にては本月十六日より輸移出品課稅價格左の通り變更せり

品名	單位	價格
大豆 上	(一石)	六、三三
同 並	同	六、一七
小豆	同	七、七五
大麥	同	三、〇一
小麥	同	七、六九
荏子	百斤	六、三六

▲除夜のボヤ 二月三日夜十時五分大邱明治町二丁目李根順(五四)宅に失火あり全燒一戶にて同十時三十分鎭火したるが原因は同夜恰かも節分に際し屋內各所に提灯を點じ居たりしが其の蠟燭の燃え殘りより發火せしものにて損害見積十圓なりと

▲助產婦講習會 大邱慈惠醫院に於て來る二月十一日より助產婦講習會を開始する筈

居昌

▲最近金融 昨秋收穫來旺盛を極めたりし殼物賣買も先高見込の如き大口物は先高見込に金泉受渡米遂に十圓臺を割るの不況を見しより思惑筋の狼狽的賣崩しとなり需要亦た捗々しき進展を見るに至らざりしも越年迎歲の準備を急ぎ込み際物資金の需要は少なからざりき然れども一般よりせば農業金融は稀に見る緩漫順調の經過なり

▲市場取引 殼物は內地安を受け金泉地方下落したるにも拘らず持籾方面の品薄を氣構へ安値を許せざるより取引兎角面白からず商人の如きは僅かに市場買繋ぎをなしをるに止まり取引相場は精白上十二圓中白十一圓中白下十圓を上下し玄米九圓見當なり

▲在鄕軍人會 居昌在鄕軍人分會は御下賜御菓子の到著を機とし一月三十日午前十時公立尋常小學校庭に於て御親謁の際賜はりたる勅語捧讀式を擧行せり

群山より

中島生

二月四日

○群山は米の話でなくては夜も日も明けぬ始末に候、會ふ人每に談話の緒は先づ米の挨拶に開かれるといふ次第にて、宿屋の朝飾の膳にまで「大丈夫です、お進みなさい」とか「御用心」とかの辻占を挿んだ子持箸がそゞろに客の取引慾を煽てたり押へたり致居候。

○昨年の暮は非常な景氣にて、米の關係筋は大分儲かり、結構な正月を迎へたる由に候處、此節では米價安にて玆許人氣聊か沈衰の態に有之候。暮までに儲かりしものも春には吐き出した向もあらんとの話にて候。目下の處停滯品十五萬叺はあるべしと見受けられ候。

○滯貨問題、各方面の人士とも會談の機會を得候、何れも群山の發展繁榮策に就ては相當に考究せられ居り候、種々實行すべき事、解決すべき問題も有之樣に感じ申候。何れ歸社の上紹介もし、意見も陳じ申すべく候。

□　□　□　□　□

お祭の豆お門ちがひと鬼笑ひ

宿媛で鬼を拂ひもせず、米の群山で節分の豆を撒く

昌寧

▲最近市場況 慶南昌寧は目下金融緩漫にして特記すべき現象なしと雖も最近市場價は白米十二圓八十錢大麥六圓六十錢小麥十一圓大豆七圓六十錢小豆八圓蕎麥八圓にして市場頗る平穩なり

釜山

▲商議役員會

釜山商業會議所にては三日役員會を開催し左記三件を附議せり

一、鑛產館新築工事は關原定一氏の設計により六十日間に竣成せしむべく指名入札を行ふ事

二、南濱土地賣却、場所を二人以上の希望者あるため解決の附かぬ分に對しては圓滿に調合ふべく勸告をなす事

三、新會議所發起人會に關する件は既に諸般の事務進捗せる上は至急に豫算及び賦課金徵收方法を制定編成し第一回發起人會を近々に開催し新會議所組織をして一日も早からしめん事に決定せり

▲西部電鐵延長

釜山西部電鐵期成同盟會の要望に依り瓦電會社にては愈々延長に決定し香椎社長は五日總督府に出頭右許可を懇請せり

▲農事講習會開期

石井講師病痾のため延期中なりし釜山農事講習會は同講師病氣全快せしを以て愈々十七日より一週間元民團役所樓上に於て開催の筈

人事消息

▲小田省吾氏(編輯課長) 北鮮諸道に出張を命ぜらる

▲高坂篤三郎氏(模範場技師) 二日附を以て仁川へ出張を命ぜらる

▲平井三男氏(東監課長) 出張所事務監督の爲め十二日より慶尙南道へ

▲中村新太郎氏(鑛務課技師) 鑛床調査の爲め十二日より忠北、忠南、京畿各道に出張の筈

▲龜井陸良氏(北京順天時報社長) 四日夕入京朝鮮ホテル一泊五日朝東京へ

▲ミラー氏(京城駐在米國領事) 五日午前八時三十分南大門發列車にて水原へ

▲ブリポジャ氏(京城駐在白耳義領事) 同上

▲エムヘフトレル氏(京城駐在獨國副領事) 五日午前八時五十分發列車にて長崎より歸京

▲ハリス監督 五日午前九時十分發列車にて沙里院へ

◎大阪經濟通信

▲海運界珍現象 孟買加奈陀

航路の船舶不足の爲め各荷主は積荷に對し奪合ひせるが三日出帆の[illegible]丸六日出帆の仁川丸に對して大阪神戶の荷主の積込配分を了りたるが豫定の積荷を了せざる荷主は昨今日々郵船商船等に陳情しつゝあり殊に珍らしき現象は某汽船會社にては困厄の極既に倉庫に收藏せる荷主の荷物を持て餘し平時なれば汽船會社が荷主に嘆願して一噸たりとも多く積載せんとするに今回は荷主に訴へて諒[illegible]五百噸の貨物を四月四日神戶出帆のジャパン號に積載せしむるに至れり

▲電氣器具昂騰

電氣界の活躍は歐洲戰亂以來の現象にして器具の昂騰は素晴らしいものにて絕緣材料として印度より供給を仰ぎ居たる雲母及び活動寫眞用サーボンは獨逸より輸入し居りしも輸入不可能となれるより何れも三四割高の昂騰を告げたりと

▲精糖支那輸出

精糖支那輸出は本年一月二十日以來近日迄日糖、臺灣製糖、明治等の賣買成立したるもの合計十二萬俵に及べり其大部分は日糖にして價格はエル建上海沖渡相場十一圓二三十錢見當にて積立期は三四月に亙ると(大阪支局特電)

商業登記公告

株式會社明治屋取締役米井源治郎、磯野長藏、宮地正彰、佐野吉之助ハ各任期滿了ノ處大正五年壹月拾八日重任シタリ

右大正五年貳月貳日登記

株式會社朝鮮商業銀行支配人池田庄五郎ハ大正五年貳月壹日其住所ヲ京城府古市町貳拾參番地ニ移轉シタリ

株式會社漢城銀行ハ大正五年貳月壹日京城府南大門通四丁目七拾壹番地ニ支店ヲ設置シタリ

右大正五年貳月參日登記

京城地方法院

商業登記公告

振威興農株式會社登記事項中變更

左記監查役任期滿了ノ處大正五年壹月貳拾九日再選重任ス

津田榮太郎　木村龜太郎

右大正五年貳月四日登記

京城地方法院平澤出張所

生徒募集

本年四月入學セシムベキ第一學年生徒約百名ヲ募集ス詳細ハ一月二十八日以後ノ朝鮮總督府官報又ハ當分教室ニ就キ承合スベシ

大正五年一月

京城中學校平壤分教室

帝國生命保險株式會社

第參拾回決算報告

一資本金　壹百萬圓

一保險契約高　壹億壹百五拾五萬五千七百五拾圓

一契約件數　拾六萬七千參百五拾九件

一諸準備金　壹千八百七拾四萬五千五百七拾參圓四拾貳錢

內 純保險料式責任準備金　壹千六百拾參萬五千七百參拾貳圓貳拾六錢九厘

貸借對照表

資產	金額
未拂込株金	五〇〇、〇〇〇・〇〇〇
現金	二六、七六六・九五九
郵便振替貯金	三七、二四四・八七〇
銀行預金	二、三七五、六六〇・一二〇
有價證券	一、二六七、八五七・三〇三
貸附金	四、三三一、四二七・二五一
不動產	九七一、〇一一・一六〇
什器	二五、三三七・八八〇
未收利息	三、八八五・七四〇
未收保險料	五三、五五七・二四七
代理店貸	八七、六六七・六二五
假拂金	六八、一五〇・四五三
支店新築費勘定	二、九二〇・九一〇
合計	二〇、〇二三、三九三・二〇七

負債	金額
株金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
法定準備金	二〇九、〇〇〇・〇〇〇
責任準備金	一六、一三五、七三二・二六九
保險契約利益配當準備金	一、七八六、七〇四・〇八四
支拂備金	二〇八、六五二・二四二
別途準備金	一〇〇、〇〇〇・〇〇〇
假受金	一四、二八一・五三二
預リ金	一三〇、〇二〇・八五一
保險契約利益配當金支拂未濟	一〇、四四四・三三五
株金配當金支拂未濟	一、四五〇・一七五
利益金	四七七、六二二・八〇七
合計	二〇、〇二三、三九三・二〇七

損益勘定

科目	金額
本年度總益金	三、七四〇、六〇二・七一九
本年度總損金	三、二六二、九七九・九一二
差引利益金	四七七、六二二・八〇七

之ヲ處分スルコト次ノ如シ

科目	金額
法定準備金	三〇、〇〇〇・〇〇〇
別途準備金	二〇〇、〇〇〇・〇〇〇
不動產減價償却金	一五、〇〇〇・〇〇〇
什器減價償却金	二、三二七・八八〇
役員賞與金	二五、〇〇〇・〇〇〇
株金配當金(年壹割六分)	八〇、〇〇〇・〇〇〇
次年度繰越金	一二五、二九四・九二七

取締役社長 福原有信
取締役 矢野義徹
取締役 小西安兵衛
取締役 志賀直温
取締役 北里柴三郎
監査役 森下岩楠
監査役 前田則[illegible]

追而監査役滿期改選ノ處孰レモ重任セリ

京城支店

新宮のおん愛らしさ
兄宮殿下に御對面の折のおん笑まひ
御座所には畏き邊より賜れる御玩具

澄宮崇仁親王殿下の御近狀に關し田内御養育掛長は畏みて語る「新宮樣は殆んど一貫五百目に御近い御體量で御座います益々御健勝御機嫌よく亙らせ給ふ事は申すまでも無い事で御成育の斯くも御異常に御迅く亙らせらるゝのは新宮樣が將來天晴れ拔群の御體格とならせ給ふ最も喜ばしい御前提であると云ふ事を侍醫の方々が申されて居ります、加之此頃新宮樣の

□莞爾なる御笑顔 を時々拜し奉るやうになりました此前東宮殿下や兩皇子殿下と御會見遊ばされ給うた時なぞは御辭も高らかに御笑ひ遊ばした山に御座います御座所には 天皇陛下からの御賜及び各宮家から獻上の玩具などを澤山に飾つてある外裝飾とては致しません昨今の温かい日には二十分位づゝ外氣に御觸れ遊ばすやうにしてあります最初一番町の新御殿に御移り遊ばす御豫定で手入なども致しましたが愈々逐一檢分した結果によりますと地は高臺で其邊の塩梅怎うも

□御安全で無い憾 がありますので一番町へ御移轉の事は中止となりやはり今日の靑山御殿の一部を新宮樣御殿として永く御住居遊ばさるゝ事となりました 皇后陛下には來る紀元節の前後に葉山御用邸へ御轉地遊ばされるので澄宮殿下にも其際同じく葉山へ御轉地と内定し御座所は御用邸の近くにある

□前の岩倉公別莊 と既に決定し今日桑野御養育掛が檢分の爲めに出向きました今度澄宮附出仕仰付られた木澤愛子は今朝上京して親戚中島騎兵大佐方に居ります任命の辭令は何れ一兩日中御所に伺候の上交付さるべき筈ですが伺候の日も又御殿住ひの愈よといふ日も決定つて居ません木澤さんの外に奏任待遇の出仕一名判任待遇の侍女二名の任命がある筈ですがこれは目下銓衡中であります(東京支局三日發)

●タスカロラの海床か
二時間餘に亙つて地動計に感ず

大阪測候所の地震動計は一日午後四時二十分二秒に强き地震ありたるを感じ二時間に亙りしが此の印象に依りて考ふるに震源までの距離は大阪より約二百四十里にして三陸遠洋なる有名のタスカロラ海床に發生したるものたらんも去る十一月一日午後四時二十五分過ぎに發したる三陸沖の地震より稍遠かりしが故に稍小なりと(大阪特電)

●汕頭丸行衛不明

大阪商船會社汽船汕頭丸(二〇四五噸)は雜穀を滿載し三日木浦を發し四日午後三時釜山入港の筈なるも未だ何等の消息なきため近來汽船の遭難頻々たる折柄各方面に詮索中なれども未だ手掛なし(釜山特電)

●青島海底電線の故障

當地海底電線故障に就ては通信部より遞信省に向け復舊を促し同省にては直に長崎碇泊中の小笠原丸に打電し修理工事を命じ同船は目下其準備中の由なるが斯かる故障を屢繰返すは到底忍ぶ能はざる處なれば今回は根本的修理をなす筈にて從つて復舊迄には多少時日を要すべしと(青島特電)

●飛行機發動機十個

目下帝國ホテル滯在中の露國人二名は本邦より飛行機用發動機購入の目的にて馬力數は不明なるも十個を砲兵工廠に註文したりとの事なり露に飛行機三百臺の製作を依賴し來りたるも製作力微々たる我が飛行界の悲しさ應ずる能はざりしとのことなるが今回の註文は我が國にて製作難を唱へ居れる發動機なれども其註文に應ずるならんと(東京特電)

●自轉車泥棒檢擧

京城本町署に於ては[illegible]の内に三名の自轉車[illegible]此價格約五百圓を窃取し其都度本籍の某鮮人方居川崎只一(三)といふも 大分縣宇佐郡左日村[illegible]本町二丁目[illegible]

日鮮友倶樂部劍道部にては今回青年劍道家[illegible]百太郎氏を主幹に推し五日午後三時より[illegible]毎日[illegible]

六日勿然所附近に[illegible]

▲淨土宗開教院日曜布教 本町三丁目開教院[illegible]午前九時[illegible]あります

[illegible]三等二十六名 四日入港新羅丸乘客

天氣 曇り後少雨 二月六日

使節接待＝ペトレリ大司教帝國ホテル後庭の逍遥＝(東京支局)

●三箇月の俸給前拂ひ
奉天軍雲南の戰場へ向ふ

奉天第二十七師及び二十八師より選拔せる敢死隊一個大隊は四日雲南方面の戰場に向け京奉線にて奉天を發せり 敢死隊は段將軍張馮兩師長等が出征を請願せしに對し袁總統之れを嘉納したるより 兩師の各大隊中より勇健なる將卒を選び去る一日段將軍の檢閲を經て本日首途に就きしものなり段將軍は將士に對し特別の服裝を與へ三箇月間の俸給を前拂ひせり隊長は第二十七師執事官劉云一なり(奉天特電)

●奉天の窮民二百萬
段上將軍の警戒益々嚴重

目下冬防に際し奉天にては段兼按使より軍警に嚴戒を命じ居れるも全省の窮民約二百萬人救濟もせられずして歳末に迫れるより化して所在に盜みをなすもの多く奉天省城の内外にすら昨今は白日暮夜の差別なく馬賊及草賊の出沒するあり外人をして只管支那軍警の無能を嘆ぜしめつゝあるが又々偵は大連旅順に潜伏せる革命黨員が雲南共和軍の爲めに政府軍を牽制し兼ねて二十七師の五十三、五十四旅より編成し征南に參加せんとする混成旅の發程を阻止すべく外人を襲擊して交渉を惹起するの計畫を爲し居れりとの報告を送りしより段兼按使は三十一日軍警長官を召集し豫防策を協議し更めて地方軍警長に嚴戒を電命せりと(奉天)

●女將連中殊勝な一芝居
上り高は白耳義英吉利等へ寄附する

義は金鐵より重しとは浪花節で聞いてゐるけれどもこれは日本ばかりの專賣ではなく今戰爭に敗けて憎い獨逸のために苛められてお可愛想に天子樣御自身が戰場で懸命の働きをなすつていらしやる白耳義は皆英吉利や佛蘭西への義理合ひからさと喘んで碎いた話を聞いた京城の料理店の女將、酒屋の女將連中、赤辭さんで女將さんでも感心ですわねえと感じ入つたところへ何かやつてみたい道樂氣も手傳ひ、芝居を打つてその上り高を全部寄附しませうといふ事に相談一決千代本、喜久家、富美の家、辰中、花房の女將なんどが役者を承り來十六七日頃習芝居の蓋を聲座に開ける事になり近く稽古に取懸る筈ださうだ

●京橫間頻々たる電線切斷

東京橫須賀間電話線の切斷せらるゝ事頻々にして通信上の障害甚大なり 其筋にては極力犯人の嚴探中なるも猶不明なり(東京電報)

●邦人判明

カリフオルニヤ州サンチヤゴに於ける洪水の原因は貯水の堤防決潰したる爲めにて本邦人死者は福岡縣朝倉郡秋野末吉及び妻子鹿兒島縣日置郡永吉村鍛冶屋嘉兵衛同村岩下末吉及び其外に原籍人名不詳の者六名あり(東京特電)

●小供を貨物扱にして岡山へ

三十日夜半備中倉敷驛著上り列車にて朝鮮發岡山縣都窪郡中庄村大寺と記せる札を胸間に吊せる七歳の男兒が同驛前河田運送店の取扱ひとなりて下車したるより同店にては直に此の事を倉敷署へ屆出でその夜は同店に一泊せしめ種々訊きたゞしたるに小兒の事とて委しき事情は語り得ざるもたゞ親は車夫を業とするものなりとのことに倉敷署にては直に人力車營業帳を取調べたるに中庄村大寺に松平熊次と云ふ車夫のあるより熊次を呼出し對面せしめたるに果して我子なるが何故より遙々朝鮮より小兒の身にてたゞ一人歸り來れるや事情は詳ならず(倉敷特電)

●勝助、新十郎來る

昨年共進會當時藤田音藏杵屋勝太郎花柳芳之助等と共に來京し共進會踊りを敎へたる杵屋勝助、藤間新十郎の兩人は來る十日頃再び來京し暫らく滯在の上雛子の稽古を爲す由

●新太郎亡くなる

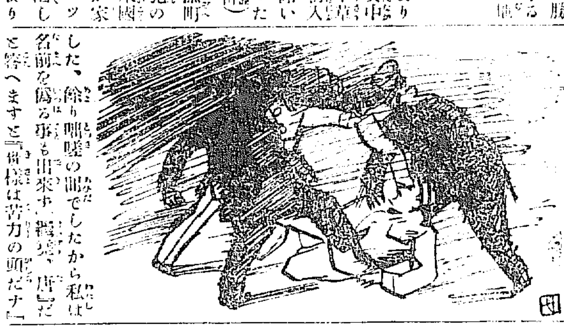
仁川本町居住の福田かよが内地より新羅丸にて歸鮮の途次玄界灘の眞中で生れた新太郎は生後の手當中仁川港で病院にて遂に死亡した四日朝入港した新羅丸の船長は此の話を聞いて切角赤飯まで炊いて祝つてやつたのにと大變に無念がつて居つた(仁川)

●地下室の泥棒

京城竹添町三丁目高川鎭(三二)は窃盜前科二犯の曲者なるが曾つて同町三丁目居住米國人シチイダーの家に雇はれ同人が家財類を其隣家なるエフ、エム、ブロツクマン方に保管方を依託して歸國したる際其の所藏場を熟知し居るより前後九回に亙り地下室に侵入して自轉車外七十八點(價格二百八十餘圓)を窃取し之を賣却して豪遊したることを鍾路署の警官に探知せられ取調べの上檢事局へ送らる

●仁川の猩紅熱

仁川新町十八番地入江次郎吉長男商業學校生徒彌一(一五)は猩紅熱に罹り隔離病舍へ收容せられたり



革命將軍(四)
候補生時代の蔡鍔

□滿人留學生 復讐の相談

『そうしますとね突然その三人の男共は演遊に蹈まつたのです、其時其の内の一人が私を見付けて誰何しました

『何にしに此處へ來た』と云ふのです『何にしに來ても好いぢやないかそれよりも貴公等こそ怪しいではないかと私も餘り激したものだから遂い斯う云ひますと『此奴は秘密を嗅いで居やがるぞ『非國民内通者など、喚鳴りながら犇々と私を取卷きました其の内で一番丈の高い三十一聯隊附の劉と云ふ奴だつたと思ひました『此奴を生かして置く事は現在將來共に

我々に不利益だ 殺つて終へ

と斯う云ふんでした向ふは大男が三人此方は一人だから此れは逃げるに越した事はないと身を飜へして驅け出さうとしましたが此の時私はもうしつかり捕へられて居つたんです、そうして打つ蹴る私はもう自分から死んだのではないかと思ふ程、苦しかつたんです、其時恰度、町の方が人聲がして來たので、三人の奴等は驚いて逃げて終つたんです『覺えて居やがれ貴樣近い内に首を刎ねて呉れる、斯う云つて行きあつたのです

人聲は他の道へ行つたんです、

『私は漸つと起き上つて歸つて來たのです、手や足の骨が疼いのです堪らないほど

『甚い怪我はなかつたかね

『はお骨は折れない樣です。膝頭から少しばかり血が流れるやうです何にも大した事は無いやうです、

『何にせ今夜は寢んで勞れを休め給へ、怪しいのは其の三人の滿人と其の演遊だ、よし明晩は皆なして行つて見やう

『ハアどうぞ。私が案内して參ります今度は今夜の仇打ちに、彼奴等を海の中へ投り込んで遣ります、ア、痛た……』

不思議な「墨西哥」
安達公使の談

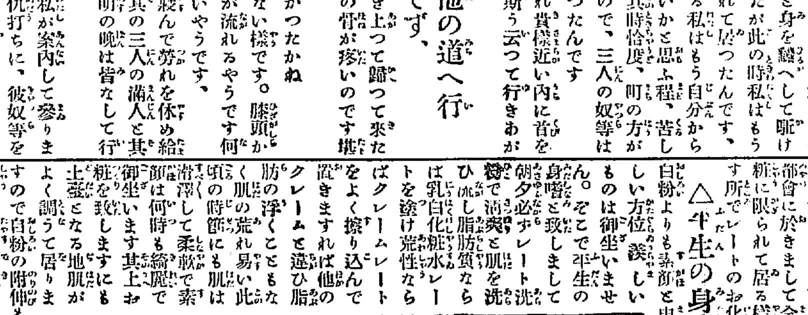
天晴れ精鋭……門閥の……つべ擊ち……公使館の自動車奪はる……いたちごつこ

▽令孃＝があつて其軍隊中の女軍人を見ては十五六の二人の是等の女等は皆掠奪的に捉はれて陵辱し果てたのだが丁度其頃予の官邸に避難してゐた田舍の富豪の家族は『オ、彼女は妾と同級生の某だ彼女もさうだ此女もさうだ』と云ふ有樣で轉た戰時の悲慘に暗涙を催させられたけれども此方は其慶素振を示さず此雜然たる軍隊を『いやどうも美事なる武者振り・天晴れな精鋭で御座ろ』と云つて閱兵を終つた樣な仕末であつた、其頃予はサユラの閑居以來得た病氣の爲めに臥床して居たが病ひを押しても夫れ丈けの事はさせられたのである市中の高地にある敎會堂、ア、そう丁度彼の佛蘭西敎會の樣な（と公使は朝鮮ホテル三階の南向の室から窓越しに午後の日射を浴びて輝いた尖塔を指しながら）彼處塔の上に機關砲を据ゑて

▽田舍＝から押寄せて來る革命軍と交戰するのだ何でもカランザ侵入の時は十日餘りも市街戰が續いたが人口五十萬と渡京城よりは稍や大きい市街の到る處是れ屍山を築き血河を流し阿鼻叫喚に滿ち充て凄愴の氣漲り溢れた此時の亂には我公使館では一日の間自動車を奪はれた其れも其前夜予の隊師を送らしめた歸路空自動車が暴徒の爲めに襲はれたので運轉手は愴惶自動車を捨て暗中を御蜀して逃げ歸つて來た處が翌日になるとカランザの軍から『貴下の自動車が市中に遺棄してありましたから』と云つて屆けてくれた倚幾多の事例があるが戰國の上下、官革を問はず日本人に對しては

▽非常＝な好意を表してくれた事は實に盲眠に絕する次第であつた、ウエツタに代つて入都し大統領と稱したカランザは入都以來一箇月目の九月二十日には又他の入都者の勢力に壓せられて出奔した夫れからは後から後から入都して黑府の占領者が大統領と稱するに至つた其都度日本の公使館には必ず挨拶に來る然し又間も無く出奔しなければならなくなる(つゞく)

お化粧のいろ〳〵
帝劇女優 小林延子談



△最新流行のお化粧

寒いうちにも晴れ渡つた梅日和何處からともなく聞える鶯の囀聲何となく長閑な心持が致されます。梅から桃へ桃から櫻へとこれからは日一日と樂しい時節が近づいて來ります。それに引き連れてお召物や髮の飾も自然と時節に移つて來りますがお化粧はと申しますにこれは東京を初め京都大阪其他重なる都會に於きまして全くレートのお化粧に限られて居る樣な有樣でムいます所でレートのお化粧と申しますと

△平生の身嗜は素顔

白粉よりも素顔と申す程で素顔の美しい方位羨しいものは御坐いません。そこで平生の身嗜と致しましては朝夕必ずレート洗粉で滿爽と肌を洗ひ脂肪質ならば乳白化粧水レートを塗け荒性ならばクレームレートをよく擦り込んで置きますれば他の脂肪の浮くことも肌の荒れ易い此の時節にも肌は滑澤して柔軟で素顔は何時も綺麗で御坐います其上にお化粧を致しますにも下地肌が上臺となるので白粉の附も良く如何なお化粧でも易く出來るもので御坐いますよく調うて居ります

△瀟洒とした粉化粧

粉白粉のお化粧は本來は西洋人の化粧法でムいまして脂肪質の人に相應しいものでムいますがその手輕な割合にお化粧栄の瀟洒として優美な所から此の頃我國でも非常に流行して來りました幸にもレート粉白粉には他の粉白粉と異ひセーム革付とボツト付と兩樣ムいますので先づお化粧下にクレームレートを引きセーム革で拭き取りましてその上にポツトか粉刷毛かでレート粉白粉を刷けば宜しいのでムいます

△艶で自然な濃化粧

濃化粧こそは艶麗至極なもので生來の顔容の難點を隱し出來るだけ美しく見せるものでムいますがお化粧法から申せば一等むづかしいものでお化粧の致し難いも化粧の塗け方が困難で次に第一に白粉のお化粧栄に自然の生氣が無くなり易いものでムいますす濃化粧はクレームレートをお化粧下に引き先づ鬱を極濃目に粧りまして次で鼻梁を粧り目立たぬやう顔と襟との境界は刷いて粧上るので自然な濃化粧を致し最後に粉白粉をムいますが艶で自

△粋で上品な淡化粧

粋と上品とを兼ねた淡化粧にはレート水白粉に限ります。レートデエリーをお化粧下に引きましてレート水白粉を塗けますればそのすつきりとした所は粋の極みでそのあつさりとした所は此の上もなく上品で御坐います。殊更にお化粧したやうに見せず垢ぬけが致しまして粧らぬ中にわざとらしからぬ美しさ妍媚さを偲ばせやうと致しまするのが此の淡化粧でムいまするのでそれはレート水白粉のお化粧栄に及ぶものは全くムいません。

△活々とした化粧榮

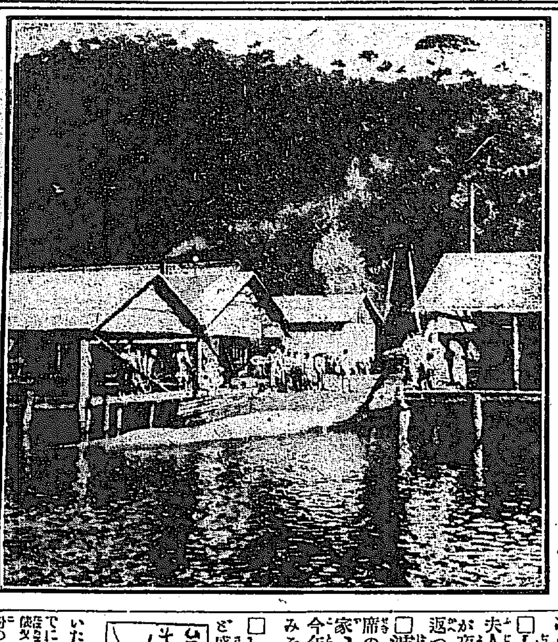
流石にレート白粉は分子が細かく附伸が思ふ儘になり斑も出來ずよく落ついて化粧崩がせず其上奥床しい芳香が致しますなど他に類のない優れた白粉でムいますのでお化粧栄は活となして見榮ありまたお粧も容易でムいます。また白粉の溶水に透明化粧水レートを使ひますれば一際化粧映が致します。レート化粧料には倚ほ白粉分ない隱化粧にほんの色を白くするレートフード、化粧崩を直すにレート打白粉やレート紙白粉がムいます。

●鯨とり＝海の兒の意氣（三）

カイザリン伯爵＝長箭港頭の解體場＝
煌々たる篝火に宛ら戰場の光景＝
赤身の刺身は鮪も及ばぬ＝莫大なる國富

今でこそ朝鮮東海岸の捕鯨業は日本名物の一つとなつてゐるが、それではむかしから内地人の手に經營されて居たかと云ふと決して左右ではない。始め韓海の鯨群に着目したのは露西亞のカイザリング伯であつた。伯は明治廿四年の頃現露帝が皇太子として日本に來遊せられた時の隨員として來り、直ちに咸南新浦と江原の長箭と慶北の唐山とに捕鯨根據地を有つて盛んに此の附近の鯨群を捕獲したものである。然るに翻つて當時の内地人の捕鯨業を見ると頗る幼稚で振はざるものであつた。

□日本の捕鯨業をして今日あらしめた人は實に長州の人岡十郎氏の功であつて氏が始め日本遠洋漁業會社を創立して以來今日の東洋捕鯨會社にもり立てる迄には實に一方ならぬ困苦を嘗めたものである。現今のやうに第一東郷、第五捕鯨、天富、ニコライ、メインなどを始め數十隻の捕鯨船が圓三の旗を飜して日本海上に活動するまでの歴史は元山の人々が今に昔話の語り草となつて居る又た海上で捕獲された巨鯨の軀はこれを長箭の事業場に運んで瞬く暇に解剖して了ふ。船が艦首に巨大な鯨の尾羽を吊縛しながら港の入口からボウ〱と合圖の汽笛を吹き鳴らすと、廣き事業場はさながら戰場のやうに目覺しく活動し始め起重機の力で捲き揚げられた巨鯨の全身は大鋸や肩尖刀のやうなもので瞬く間に截割されて了ふ。殊に夜獲物が有つた時の作業などは煌々たる炬火の照り榮える處勇ましい漁夫の鯨唄が聽かれる。又鯨の肉はまた甚だよく幾が廻るものであるから山のやうな赤身は直ちに冷肉場に運んだ上幾多の運送汽船で下關に送る。古來九州中國地方の人々は鯨の調理に馴れて毎年節分の晩には鯨肉を喰はねば納らぬことゝなつて居る。若し夫れ鮮らしい背美の赤身を刺身として生のまゝ大根おろしで味はふ時に至つては到底鮪魚などの及ぶ所でない。



＝鯨を陸揚せんとす長箭港頭にて＝

□赤身は直ちに冷肉場に運ばれる。鯨の全身はまた何一つ捨てる處が無い、先づ其の赤身は素より骨、内臓に至るまで何れも莫大なお金となる。殊に鯨の齒は種々な細工ものとなるので誂られて居るが既に大正四年中内地に送つた鯨肉價格は十八萬一千七百三十六圓、これを大正三年の十三萬二千百七十六圓に較べると四萬九千五百六十圓の増額である。また鯨は餘程其の兒を愛する動物で若し一度其の兒を捕られた場合には牝牡の親鯨は決して兒の側を去らない、また可愛らしい兒鯨を伴れた夫婦の鯨は時々兩方の鰭に幼兒を乘せたまゝ樂し相に海上を游ぎ廻る事もあるといふ「巨大きた鯨は何を喰ふか」それはむかしから鰮の大群を追うて喰ふと決定つて居るが、また江原道海岸では小鰮の群を追うて喰べる。若し鯨が其の餌の爲めに迷うた時は捕鯨船の危險も意に介せず平氣で陸地近く寄つて來る。彼の捕鯨根據地長箭港の入口なる兄弟島あたりに於て不意に數頭の大漁がある如きは全く鯨が小鰮の御馳走に血迷うた時の事である（完）

●澄まし返つた大丸髷

節分の夜の賑ひ＝花柳界の『おばけ』

役者づくしに大名づくし・洒落た昔の連ね文句に七難九厄を拂つて歩く□厄拂ひの古風な呼聲こそ聞かなかつたが四日の夜の京城には本町邊りの商ひ家から『鬼は外、福は内』の聲が襟りに洩れて□薄暗い四辻の角々に乞丐の代りに鬼によく似たチゲが群れて忍びやかに落してゆく厄を封じた紙包みを爭ひながら拾つてゐるのが如何にも節分らしかつた□此の外に節分らしい氣分を見せたのは藝妓連のお化け姿であつた夕靄深く立罩めた逢魔が時の七時頃から□化性の秘術今こそ見よとばかり、現はれ出でたる妖怪變化、意氣過ぎては無意氣の傚ひ、それを得たり顏にしやなり〱とひけらかして歩き廻る者は我の家に□弟子入せば一ぱし働けようかと思はれる三枚目どころが車の上にフン反り返つてゆく圖など珍なものがあつたが當日最も□振つたのは清華亭連、牡丹のお染、小牡丹の久松、三太の母親でお染久松を出し半玉のポン太の四ツ七、松葉亭の小松の長吉、光奴のお女、時勇の妓生、光枝の老婆、金玉の女優、そのお向ひの大江戸からはみや子が□女優姿で飛び出せば聲の間合夫人と氣取つてゐた中婆さんのたかが夜に入つてから早替りの令孃と刎返つたところなど最も奇抜、花月の□婆さん連中の白波五人女清水席の女學生などがありいそべ、辰巳家、富美の家などはどうしたものか今年は皆高丸髷と穩なしく濟まし込みそれ〲□お約束のところへ出向いたなど盛んなものであつた

台所　その日〱

△廢肉のコロツケ　何か肉の殘物ありし時、夫を細かく刻みて玉葱の細かく刻んだのと共に鍋に入れ、バタにていため、胡椒で味をつく、別に馬鈴薯を鹽茹でにして裏漉しにかけ、前のものとよく交ぜ、俵又は圓形につくり、メリケンコ、玉子、パン粉の順につけて、ヘツトであげる

商況

債券現物特電
東京　五日川東値段（前日との比較）
東洋拓殖　日韓瓦斯　朝鮮銀行　朝鮮鐵道　南滿鐵道
一五八、〇〇　一四七、〇〇

公債直取引特電
東京　五日出來値段（前日との比較）
甲　二回四分　五分　…　八四、四〇

深川在米特電
五日現在高　朝鮮米　内地米

東京期米特電
五日前場

大阪株式特電
五日前場

大阪三品特電
五日前場

大阪期米特電
五日前場

雜報

●鉛價の奔騰
鉛の需用は近來激増せしも從來内地に於ける鉛の輸入は主産地なりし米國及び濠洲品にては船腹の缺乏其他の爲め輸入不可能の狀態に陷りしかば…

●諸油の前途
當地某店に到達したる神戸よりの情報に曰く…

▲運賃大暴騰
▲上松の九圓近し
▲輕油
▲機械油

●工業藥の昨今

●群山と在庫米
萬俵を出でざるべし

●鳥致院の米況
前相當賣物伏在
越に傾く結果一般先高見

●莫大小靴下暴騰
三割方

三巴仲買店
仁川米豆取引所仲買人　海岸町　電話長四二二七三九

●洋臘更に値上乎
見當漸く一割高位

●一月中の生魚

●生果類不勢
約千箱内外の停滯　荷蜜柑
ネーブル

田中金兵衛商店　電話長一六二八番　一五二

下關相場
京城正米
南大門の廻米
仁川現物市場
仁川期米
▲五日前場
▲二節十三圓九十二錢と大々的暴落臨時入電
▲二節〇六錢と高移
▲臨時高入電　五節十七錢
▲大阪七節一十二錢と尙高移

各地商況
市場零聞
▲前場の大激戰
▲前場大變動
▲大阪大變動に人氣動搖
▲中限新規買
▲今筋大に賣る　十二錢と跳返
▲此賣物の爲め逆轉高値越
▲愈々底入れ乎
▲賣方勢の警戒
▲九十一錢に一度目の抵入非
▲今前場の

行賀仲買店
仁川　電話一二三番

仁川米豆取引所
五日の四月限

演藝案内

櫻井町　大正館
電話八七三番

本町　壽座
電話五七八

黃金館
黃金町四丁目　電話二六三七

新龍山　佐久良座

壽町　壽館
電話一〇五〇

御成町　御成座
電話二一九一

明治町　浪花館
電話二六〇番

■土地家屋　不動産競賣廣告

▲第一場所　京城南大門通三丁目一〇三番地
▲其坪數　土地三十二坪建坪煉瓦三階建約八十坪
▲第二場所　京城南大門通四丁目五十四番地
▲其坪數　土地九十四坪建坪煉瓦二階建約百七十坪
▲日時　來る二月十五日午前十時より同十二時迄
▲入札場所　中華民國華商總會
▲保證金　見積金額百分ノ五

右之土地建物共今般競爭入札を以て賣却致し候間御希望の御方は御一覽の上前記の日時に御來駕被下度願上候也

京城南大門通四丁目五十四番地　王受益

農業世界　二月號　例に依り農事關係者の必讀すべき記事と有益なる參考資料滿載　定價廿錢郵稅二錢（前金八冊一圓六十錢共稅四冊八十三錢）　東京本町　博文館

三和高麗燒は宮内省御用の光榮に浴したり　香爐、花瓶、香盒、茶器、菓子器其他種々
三和高麗燒　朝鮮特産海老の精
海老の精は｛風味佳良。滋養分豐富にして貯藏久しきに耐へ御土産として絕好の珍品に御座候
三和高麗窯元　海老の精發賣元　朝鮮鎭南浦　富田商會
特約店　京城　龜屋商店　同　津村商店　仁川　鈴木商店　平壤　龜屋支店　大邱　津川屋商店　清津　龜岡商店

特許機械製　高等ほまれ味噌　特約者發賣元　京城黃金町　三巴商會　電話三八番　京城南大門外　大三商會　電話二二〇番

機業染色家に急告
歐洲戰亂の爲めコールタール染料の輸入杜絕し爲めに市價暴騰に暴騰を重ね殆ど底止する處を知らざる現狀にあり此時に方り内地及朝鮮の山野に豐富なる天然染料の使用を喚起せしめんとして本所主幹は斯業專門の學校出身已來廿有餘年間實地經驗を爲したる應用法を廣く普及せんとす國家經濟の爲め研究希望の諸氏へ其方法を頒つ
希望者は來る二月十五日までに申込あれ照會は返信料を要す
京城黃金町二丁目七十番地（電話二八九一番）　鮮京染色所

金露　攝津灘　大塚釀造所吟製　發賣元　京城本町二丁目　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五

●劍道獎勵會開始　本町三丁目
●朝鮮時報特派
●連絡船上陸客　四日夕入港　對馬丸乘客　佐藤潤象外人一名　同　河合藤太郎、神谷文太郎、中島三等九十六名

越後大評定

第百二十二　嚀早川貞水口演

長勝寺の早鐘

一同押取り刀で駈付け來つたには、宛で大船の浪を走るが如き勢ひである『サア此の如く人數が揃つたる上からは、是れより小栗の屋敷へ乘込み、小栗親子を討取り、惡人の邪魔する者は鏖殺しに致せ』と云ふので支度に及ぶ、此とき中老役の高千二百石、無類の大忠臣と謂はれた片山隼人、倅新十郎本年十九歲、至つて親孝行、今日は故越前宰相忠直公の御年回に就き、長勝寺に到り御拜を遂げ、他の用事を殘らず濟ませ、御屋敷へ御歸りになり『ア、今日は天氣都合も好く、誠に御法事も無事に相濟み、結構であつた、新十郎御苦勞であつた、サア〳〵冷麥が出來たから、御酒ひとつ召上れ……コレ常藏、常『ハイ、隼『庭へ水を打て、常『ハア畏りまして御坐います』忠僕常藏が、御庭へ水を撒いて居りますと俄に早鐘が聞える故、隼人が『常藏、あの早鐘の音は何ぢや新『御父上、長勝寺の方に當りまして鐘が鳴ります隼『ナニ長勝寺の方に……是は怪しからぬ、常藏、何事なるか見屆けて參れ常『ハア畏りました』水を撒きかけて居りました常藏、手桶を其處へ置き、柄杓を持つたなり駈出したが、頓て引返し來て『旦那樣申し上げます、只今御家中の方々は、押取刀で長勝寺の方へ追々駈付けて參ります隼『ナニ長勝寺の方へ駈付ける、それは容易ならぬ、さては此早鐘は御家の一大事の秋にあらざれば撞かざる鐘、ソレッ、早く馬の用意いたせ』馬を曳出させ、其馬に打乘るとトッ、トッ〳〵〳〵〳〵、直に乘出し、長勝寺の大門へ駈付けると、馬を鎮め、キツト向ふを見てあれば、槍、薙刀、刀等の用意に及び、何れも勇氣四方を拂ふ許りに致して、何れへか乘込む容子、隼人馬上より隼『ヤア〳〵各位方に於ては、白晝何故あつて此の如く大勢集り物々しき扮裝をなさるゝか』と云ふと西尾庄左衞門現はれ庄『イヤ片山隼人殿で御坐るか、吾々に於ては只今小栗美作の屋敷へ押寄せ、美作親子の惡人を討取り、御家を泰山の安きに置かんため、此處に一同の者早鐘を打つたることにて同志を集め、是より月見ケ丘小栗の屋敷へ乘込む所で御坐る隼『イヤ是は各位方相變らず忠義の芳志厚きは、誠に喜ばしきことにて、道理なる其の御一言、拙者も同意、この上からは乃公先手を勤むるで御坐らう』一同『此とき天野一角莞爾と打笑ひ『何と言はるゝ片山殿、御身は小栗美作の妹を妻と致す身を以つて、今その義兄を吾々が討ち取ると云ふに、之が先手とは何事で御坐る、思ひも寄らざる御一言、それより早く小栗方へ駈付け內通いたし、吾々の斬込む途中を妨げられよ、其時御身も更めて槍玉に上げ申さん隼『近頃以て御道理なる仰せなれど、綱成の關係は私事、御家の一大事には代へられぬ、私を以て御家を等閑にする如き拙者では御坐らぬ『默れ、汝口は巧者に喋舌るが、內心は小栗に同意なるは知れたこと、エイ面倒なり、ソレ片山を槍玉に上げえ、血祭にせよ』槍先を揃へたる有樣なり隼『是は怪しからぬ『決して早まり給ふな』と云ふも聽かざる容子、そこで隼人は據ろなく、忽ち馬を返へしたることにて、我屋敷を指して乘戻す。

お聞きなさい

▲大學教授の役者●　此間英國から歸つて來た早稻田大學教授坪內士行は來る四月二十五日の沙翁三百年祭記念日に帝國劇場に出演して沙翁劇を演ずるさうな

▲此寒いのに筍が●　三河西加茂郡擧母町大字宮口新田五十八松田甚市方に廻り五寸一分長さ一尺四寸八分の筍が生じ見物人で賑つて居る

▲五年經つた骸骨●　福岡縣田川郡添田山神社の上手六町の所で廿三日午後死後五年位を經たらうと覺しき死體が腐朽せる外套帽子を著し完全に骨組のまゝなるを發見した醫師の鑑定では三十五六歲の男だといふ

▲子供同志の殺人●　岡山縣兒島郡味野町立味野高等小學校一年生荻野倉治(一五)同古谷政雄(一六)の二不良少年は廿七日午後五時頃同級生松尾好太郞(一三)と喧嘩を爲し金槌と火吹竹で散々好太郞を亂打其場に即死させた

▲南支那の强賊團●　最近二週間に亙り支那武昌の南方に當つて强盗頻りに出沒し盛むに人殺しをやる、賊は皆數十人の團體でピストルや劍を携さへ、大膽不敵に横行を續けて居る

入院隨意（診察夜九時迄）
泌尿器病專門
腎臟病　膀胱病　淋病　梅毒　痔疾　皮膚病
永樂町二丁目　金光教會隣り
安部醫院　電話四一九番

二月七日九星
舊正月四日甲戌　本命八白　艮成佛滅

▲八白●　力づくにゆかぬ事有日　新事見合東方は吉暗劍良▲九紫●　縁談を上る日　轉居開業入學名弘求職建增婚禮遊技指南等皆吉▲一白●　女難おさしもの用心の日　新事手控事は吉一切の賭事せぬがよし▲二黑●　駄目な喫し多き日　新事手控稽事股藝は妨なし▲三碧●　自棄氣昧の事有日　新事手控事は吉尙散財を防ぐべし▲四綠●　新事手控稽事は吉　不進不退の日と雖も新事控目の方吉稽事開設は妨なし▲五黃●　押問答に來る事有日　新事手控事は吉保證の裏書等を禁ず▲六白●　信用厚き日　轉居開業入學名弘金件求職婚禮有價證券等皆吉▲七赤●　順調の日　轉居行商入學名弘求職建增等大なる金融を計る等萬吉

▲新美容素を發見したる
桃谷研究試驗部
顧問　丹波藥學博士
同　山本醫學博士
主任　桃谷藥學士
小磯藥學士
齋藤藥學士

美顏水

都會の婦人と垢ヌケ

▲垢ヌケする譯

都育の人は一般に田舍育ちの人より垢ヌケしてゐます。垢ヌケして居るからこそ都育ちの人は美しいと言はれるので此「垢ヌケ」が無かつたら目鼻立などでは那麼に甚く變つてゐるのではありません。それ故美しくなるのには「垢ヌケ」が一番に必要だといふ事がお分りになりませう。

所で垢ヌケするのには、皮膚の新陳代謝と言つて、陳い汚い表皮を、新しい美しい表皮と入代へる、元來皮膚に具つてゐる作用を一層活潑にさせるのが第一ですが、其作用を極めて活潑にする成分を含んで出來てゐるのが美顏水で、殊に桃谷研究試驗部の學者が發見した新しい美容素を原料に加へてから、美顏水の効力は一層強くなつたので有名です。ですから美顏水を一瓶や二瓶で止めず、朝夕續けて使つてさへ被居れば、垢ヌケした眞に美しい人となられるので、上中流御家庭の御賞用が益々盛です。

▲垢ヌケしたお化粧

次に同じお化粧でも、ヤボな田舍臭いお化粧と、スツキリと垢ヌケして如何にも氣持よく美しいお化粧があるものですが、化粧用美顏水で白粉を溶いて附ければ、白粉のノリやノビが非常に良くなり、思ふ儘美しいお化粧が出來、殊に其化粧振がスツとして垢ヌケのしたホントウに美しいお化粧となりますので、大層重寶がられて居ります。

▲絕對にアレを防ぐには…？

美顏水にはチバリ氣無しに皮膚のアレを防ぐ珍らしい成分も入つて居りますから冬は殊に重寶です。

▲ニキビ吹出物を治すには…？

又ニキビや吹出物を治すのには別に「ニキビとり美顏水」がありますから其れをお薦致します。

2576.22

千頁の大冊定價五拾錢

大正五年　國民年鑑

三度の飯は二度にて可也と論ずる者あれど國民年鑑の不必要を唱ふる者の日本國民中唯一人も有らざる可し

國民年鑑目次

●大禮記　▲大禮前記、大禮の準備、齋田點定の儀、大禮延期、大禮使と大禮使、諸儀式御日取と大禮擧行地、期日奉告、齋田點定の儀　▲大禮本儀、賢所移御の儀、東京、京都　▲即位大禮、皇靈殿神殿へ奉告の儀、紫宸殿の御儀、賢所神樂の儀▲大嘗祭、御禊大祓の儀、神宮皇靈殿並に官國幣社に勅使發遣の儀、大嘗祭前一日鎮魂の儀、賢所御饌供進の儀、皇靈殿神殿に勅使發遣の儀、神宮奉幣の儀　▲大嘗祭本儀、悠紀殿供饌の儀、主基殿供饌の儀　▲大禮後儀、大嘗祭後一日鎮祭の儀、大禮後大饗宴の儀、大禮後大饗宴第二日の儀、大禮後大饗夜宴の儀、神宮親謁の儀、神武天皇山陵親謁の儀、前帝四代の山陵親謁の儀、東京に還幸の儀、賢所溫明殿に還御の儀、大禮雜記、恩赦、陞位、敍位敍勲、養老賑恤、神社昇格、文部省大典奉祝唱歌、記念事業、各地方賜饌、東京市の奉祝、京都市の奉祝、大阪市の奉祝、授爵、觀兵式及觀艦式

●一般事項　皇室、領土及土地、氣象、人口、政治、外交、軍事、財政及金融、農業、牧畜業、林業、漁業、鑛業、工業、電氣及瓦斯業、商業、外國貿易、交通、鐵道、海運、通信、宗教、教育、表彰、圖書館及出版物、衞生、慈善、司法警察、美術、文藝、演藝、歌舞音曲、相撲、運動遊戯、大正四年一月以降の重要事件、東京市、京都市、大阪市、横濱市、神戸市、名古屋市、北海道、朝鮮、臺灣、關東州附滿洲、樺太、在米日本人の發展、英吉利、濠洲聯邦、佛蘭西、獨逸、露西亞、墺地利洪牙利、伊太利、北米合衆國、支那、過去帳

●現代人物一覽　日本の部、朝鮮の部、支那の部、歐米の部

●銀行會社一覽　大正五年略曆、年曆、年齡早見表、滿年算月表

本書索引の一節

●位置(日本)●市場●醫學聯合大會●醫師●伊太利▲土地の利用▲陸軍▲離婚率▲王室▲王室費▲海運▲海軍▲外國貿易▲家畜▲內閣▲軍艦▲軍港及要港▲富力▲財政▲砂糖▲議會▲教育▲漁業▲面積▲人口▲宗教▲祝祭日▲生產及死亡●園藝●英吉利▲土地の利用▲領土▲陸軍▲離婚率▲海運▲海軍▲外國貿易▲家畜▲大學▲內閣▲農業▲軍艦▲軍港及要港▲富力▲物價▲鑛業▲皇室▲皇室費▲鐵▲財政▲產業▲議會▲教育▲漁業▲面積▲宗教▲祝祭日▲人口▲製造業▲生產及死亡▲石炭▲船舶●移民●意匠登錄●印度●印紙稅●飲食店

大取次所　京城太平町一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

汽車
南行
北行

（明治卅九年八月十日第三種郵便物認可）（年中無休刊）

京城日報

第三版

六日朝刊（第三千二十二號）

本紙定價　一部金五錢　一ケ月金五拾錢　郵税共三ケ月〔illegible〕

廣告料

發行所　合資會社　京城日報社

總督訓示
第一部長會同に於て

各道第一部長會同第九日の席上に於ける寺内總督の訓示左の如し

新政以來既に五星霜を經て將に朝鮮統治の道程に一期を劃せむとす、此間積弊を芟除し、秩序を恢復し、產業を開發し、敎育を興隆し、交通を振作する等諸般の事物著しく改善せられ、其一斑は既に昨秋開催せる始政五年記念朝鮮物產共進會に現はるゝに至れり、而して此進運に寄與せる各位の勤勞努力や寔に鮮しとせず、本總督深く之を多とす、顧ふに新政の初期に於ては庶民未だ其趣旨を解せざるものあり、諸般の施設亦凡て創始に係るを以て之が實行に當り多少の支障あるを免れざりしと雖も今や新政の本旨洽く徹底すると共に既往五箇年間に於ける經營に依り事業の基礎略確立するに至り是より更に將來の大成を圖る可き機運に向はむとす、從つて各位に要望する所亦益々多からざるを得ず、本總督は曩に諭告を發し既往の事績に鑑みて今後の經營方針を示し、官民一般の覺醒奮勵を促したり、各位は宜しく其旨趣を體し之が紹述遵行に努む可し

客年十一月即位の大禮を擧行せらるゝや特に賑恤の恩賜あり　天恩優渥洽に感激の至に禁へず、恩賜金は永遠に之を保存し、其收入を以て賑恤の資に充て長に　聖旨に副ひ奉らむを期し、爾來之が管理方法に付愼重の考量を遂げ本年訓令第一號を以て恩賜賑恤資金窮民救助規程を定め無告の窮民にして老幼癈疾病等に因り生業を營む能はざる者を救濟することゝ爲せり、凡そ窮民救濟の要程は平素奢侈を戒め勤勉力行の氣風を鼓吹し、貯蓄を奬勵して豫め不時の用に備へしむるに在り、直接に金穀等を以て救助に充つるが如きは成る可く之を避くるを可とするのみならず縱令已むを得ざる場合に在りても救助の方法其宜しきを得ざるときは却て貧者勤勉の良俗を壞り放逸遊惰の惡風を馴致するに至る可し、依て直接救助を爲すの必要ある場合に於ても成る可く親族故舊其他隣保の扶助に依らしめ、又は地方の部落若くは公共團體をして相當救濟の途を講ぜしめ、他に方法なき場合に限り本資金を以て救助に充つる可し

昨秋大禮の擧行せらるゝや各地方に於て記念事業を計畫せるもの其數少しとせず、思ふに本事業は國民至誠の徵象にして又奉公の一端なりと雖も之が經營に付ては特に愼重なる注意を拂ひ誠心誠意以て其遂行を期せざる可からず、若し事業の半途にして挫折を來し又は管理の方法適當ならざるが爲め其目的を達し能はざることあらむか、啻に敬虔の誠意を貫徹し能はざるのみならず、延て民心に及ぼす影響亦少しとせず、是を以て地方廳に於ても其指導に關し細密周到の注意を加へ、終始一貫其經營を全ふし以て當初の計畫を完成せしむるを要す。

明治天皇夙に敎育に軫念あらせられ特に敎育に關する勅語を下し給ひ先年朝鮮にも之を下し賜ひ又曩に大禮訖るの後特に文部大臣を宮中に召させられ敎育振興に關する御沙汰を下し賜ふ、叡旨深遠感激の至に堪へ、職に敎育の任に當るもの宜しく　先帝の聖訓を奉體し　今上陛下の叡旨を服膺して日夜孜々職責を完ふせざる可からず、本總督常に朝鮮の敎育を顧慮し過般數次心得を發布して日常遵守す可き條項を示し、其の據る所を知らしめしも畢竟敎育の振興を圖り以て　聖旨に答へ奉らむとするの微衷に外ならず、各位克く其旨趣を體し管下公私立學校敎員の提撕に努む可し。

凡そ法令を執行するに方りては當局者に於て能く其旨趣を會得し、繁文を避け繁禮を省き常に被治者の便宜を圖りて其勞を吝まざるを要す、殊に法令發布の當初に於ては衆庶未だ法規に通曉せず、時に或は其旨趣を誤解し、或は條文の適用を誤る等幾多の支障なきを保し難し、此時に當り職を地方に奉ずる者は能く其旨趣を說明し其適用を指示し、苟も煩累を厭ふの情ある可からず、曩に布教規則を發布し客年十月一日より之を施行せり、抑も本令は內地人たると朝鮮人たると將た外國人たるとを問はず其關係する所頗る廣汎にして之が適用を受くるもの甚だ多く加ふるに朝鮮人及外國人に在りては事新例に屬し、動もすれば之を誤解し又は其適用を誤るもののなきに非ず、而して本令は信仰自由の原則に何等牴觸する所なく單に布教上の手續を定めたるに過ぎざるは既に各位の熟知する所にして法文の條項亦難解のものにあらずと雖も、下級官廳に在りては往々にして其研究十分ならざるものあり、爲に或は民間の誤解を招致するの虞なきに非ず、各位は深く此點に留意し府郡官吏をして能く其旨趣を體得すると共に法文の研究に努め叮嚀懇切以て關係者の指導に任せしめ、本令施行上支吾なきを期す可し。

共進會は朝鮮に於ける嚆矢の事業たるに拘らず其出品は約五萬點の多きに上り、克く既往五年間の成績を展示し、又觀覽人は實に百十六萬餘人に達し朝鮮の實況を內外に周知せしむるに於て好結果を見たるは地方當局の努力亦與つて力ある所にして本總督の滿足する所なり、然れども共進會の企畫の當初より屢訓示したるが如く本事業は一時の展覽を目的とするものに非ずして產業其他諸般の文物の施設に就き既往の成績を明にし以て將來の經營に資せむとするに在り、各道は宜しく既往に於ける施設經營並に其他の成績を審査し以て將來の企畫を確定し、以て產業其他諸般文物の改善進步を圖り、從前に倍從するの成績を擧ぐることを期すべし。

朝鮮米改良の實擧がると共に其の販路著しく擴張し米價漸く回復するに從ひ近來米の輸移出は未曾有の盛況を呈し、昨年十月より十二月末に至る三箇月間の輸移出高は實に八十四萬五千石に上り之れを大正三年の同期に比するに約卅萬石の多きを示せり、斯の如きは朝鮮經濟界の爲誠に慶すべしと雖も、爲に或は輸入減退の趨勢を見つゝある外國米、小麥粉、滿洲粟等の輸入を增加するの虞なしとせず、各道に於ては宜しく此の狀勢を察し麥、馬鈴薯、甜瓜等補食品の栽培獎勵に留意し外國產食糧品の輸入增加を未然に防遏するの途を講ずべし。

山野の植樹造林は年來の指導獎勵に依り各地方に於て之が實行を見るに至れると共に國有林野の貸付出願の如き亦逐年增加の趨勢を示し、大正四年十月末現在に於て其の貸付面積十八萬四千餘町步に達し事業の成績概して良好なるは喜ぶべき現象なりとす、然れども其の指導監督宜しきを得ざるときは或は柴草の採取を事とし豫定の造林を等閑に附するの虞なしとせず、今や春期造林の準備期に入らむとするの際特に意を致し其の實行を監督して所期の効果を收めしむべし。

道路の改修は輓近頗る其の步を進めたりと雖も尚豫定路線中未改修のもの尠からざるのみならず既に改修せる線路にして修築標準に適合せざる假改修のもの多く、治道事業は今尚其の進程の央に達したるに過ぎず、自今一層奮勵努力して假改修道路を整理し未改修道路を修築し以て道路網の完成を期せざるべからず、今回道路行政の簡捷と確實とを期せむが爲め道路規則を改正したり、其の趣旨及事務上の取扱に關しては既に通牒を以て指示せる所ありと雖も特に既成道路の維持修繕に關しては周到の注意を要す、凡そ道路は常時其の維持修繕を圖るに非ざれば其効用を完ふすること能はず、而して道路の維持修繕は關係部落の不斷の協力に俟たざるべからざるを以て曩に關係部落の修路擔當區域を定むるの制を設け關係部落をして常時道路の維持修繕に努めしむることを期せり、然れども動もすれば徒に形式に流れて實績擧らざるの憾なしとせず、宜しく平素道路監視員又は修路工夫を督勵すると共に關係部落をして確實に擔當區域の維持修繕に任ぜしめ以て道路の保全を圖るべし

地方團體の經費は比年增加の傾向あり加ふるに地方に於ては寄附又は夫役等の如き事實上人民の負擔を增加すべきもの尠からずして其の負擔は逐年追增せむとす、然るに平素民力を培養して經濟界の變動に堪ふるの餘裕を存せしむることは爲政上喫緊の要務なるを以て、各位は能く此の點に留意し一方に於ては地方經濟の發展を圖ると同時に、他方に於ては地方團體の經費節約を圖り、寄附又は夫役等苟も人民の負擔を重からしむべきものは其の事業の緩急と程度とを勘考して適當に之を取捨し以て民間經濟力の涵養に努むべし。

朝鮮貿易は近時益々顯著なる發達を遂げ大正四年に於ける貿易額は金銀貨及び地金を併せ、輸移出額六千百二十五萬餘圓、輸移入額六千餘萬圓、合計實に一億二千餘萬圓を算し、而かも多年遺憾とせる輸入超過の逆勢を轉じて百二十餘萬圓の輸出超過を見るに至れり、是れ近時輸移出額の著しく增加し輸移入額の却て減退せるに基因するものにして欣ぶべき現象なり、斯の趨勢は之を一時に止めず今後益々其助長を計り永遠に繼續の基礎を鞏固ならしめざるべからず、而して輸移出額の增加せるは〔illegible〕に依り漸次生產を獎勵したる結果にして各位の努力亦與つて力あり、然れども各種產業の現狀は未だ幼稚の域を脫せず今後の施設宜しきを得ば更に生產力を增進して輸移入品を防遏し得べく、殊に最近調査したる所に依れば現在の輸移入品中其の約〔illegible〕今後朝鮮に於て生產すべき見込充分なるものに屬し、其の生產上の施設比較的容易にして地方に於て自ら計畫實行し得べきもの四割弱を占め、價格千四百餘萬圓の多きを算す之を以て各位は既定の方針に基き將來益々生產の增殖を計ると共に管內に於ける輸移入品に對し其需要消費の狀態を詳悉し容易に生產し得らるべきものは極力勸獎して輸移入品の防遏に努め以て如上の目的を貫徹すべし

總督の諭告と吾人の覺悟
三　自作自給

自作自給が國家の存立上必要缺ぐ可からざるは勿論、其隆興を圖らむとするに於て一層其痛切なるを感ぜずむばあらず。有無相通ずるは國際貿易の原則にして我に餘れるものを國外に出し、我の缺乏を補ふに外國の餘裕を以てするは、双方に裨益する所以なることを俟たずと雖も、我に於て生產し得可きものまでも之を外國品に仰ぐが如きは健全なる國家の發展を圖る所以にあらず。今回の戰亂に由り或は輸入品の減少を來し、或は輸入の途全然杜絕したるが爲め、東洋に於ける市場に多大の影響を及ぼし、爲めに或種物價の暴騰を來して日常の生活に對し多大の困難を與へたる事情なきにあらず、是れ職として自作自給の精神未だ徹底せざるに因らずむばあらず、此の如きは東洋諸國の自活力に於ける缺陷を暴露したるものといふを得可く、甚だ遺憾の至りなりと雖も、翻つて考ふれば、此時局こそ實に自作自給の必要なる理由を具體的に證明したるものにして、吾人は此刺戟に遭うて一層自覺奮起するの恩惠を得たるものと謂ふを得可し。幸にして我朝鮮に於ては日常の必需品にして今や生產し得べからざるもの殆んど稀なる而已ならず、彼の農產物は勿論、魚介、鑛石の如きは自ら用ひて尚ほ餘りあり。却つて之れを域外に搬出したるもの、最近一箇年間の總額二千四百萬圓に上れり、若し人民にして今後徐々勸勉力行、止むこと無くんば必ずや自作自給の容易なるを感知するに難からざる可し。總督が管下一般に對し自作自給の主義を唱道せらるゝこと既に久し。然れども其實行に就ては民意の努力未だ以て總督の熱誠に酬ゆるに足らざるの憾なき能はず。寺內總督が今回の諭告に於て〔illegible〕若し夫れ國內の富源餘あるに拘らず、好むで生產の原料を海外に仰ぐに至りては國民の恥辱と謂はざる可からず。戰亂の西に彌漫して以來、我國民は歐洲の製產品に依賴するの便を失はむとす、是れ自作自給の機運を促進す可き好機會なり。今や苛斂誅求の弊なく、賦課徵收の公平は勿論、金融の諸機關も亦略備はり〔illegible〕各自宜しく拮据勉勵〔illegible〕以て富力を進むることに努めざる可からず、今回の戰亂に對する影響に鑑み、更に大に覺醒奮勉する所なかる可からず。

正誤　三日の本欄、當籍救貧事業中、隣保相扶くるは誤り、又五日の末節勵行中、輸移入額中一千五百萬圓は〔illegible〕九百五十萬圓、之れに對照して〔illegible〕の誤植に付き訂正す

京日詩壇

○乙卯歲晩　木田芳洲
贅上耕華鏡裏新、春年特地感風塵、稚兒何解老親意、屈指頻呼只待春。
評曰　老少異情、古今同一、敘得眞摯。

○乙卯歲晩書懷　小林峻山
窮陰漠漠歲將殘、酌酒深宵胸自寬、千里空齋橫寂志、半生惟作折腰官、黃金暗夜任他捨、麥飯菜羹堪獨餐、驚鳥鬼逐短檠影、盡〔illegible〕闌干。
評曰　推敲其臻、不似平素粗漫之作、

○丙辰歲首口號　同　人
鳳城東望瑞雲垂、聊賦新詩擬頌辭、草莽微臣無限感、先從聖壽拜龍姿。
評曰　嚴雅

○丙辰元旦　山本　敦
數畝公租不賴人、吟窓一掃淨無塵、生涯四十前途遠、笑與梅花又迎春。
評曰　襟懷曠散

○丙辰新年　高井椿堂
臘鼓聲中覺春融、聽得南軒鳥語工、曆日匆匆未拋我、依然又是迎春風。
評曰　清楚凝遠

○賦得勅題寄園祝　高田小芥
〔illegible〕瑞氣鍾東海、稜威鎮北邊、遠添新版籍、況列强班、萬古櫻花國、年豐鶴唳閒。
評曰　筆勢雄勁、無適不佳、

○同　上　木田芳洲
皇統連綿日東、稜威遍及五洲中、奕葉大半肇祥雲、儀表玲瓏仰愈崇。
評曰　如此壯觀、眞有我神國面已、

一ケ年卒業　實業講習錄

自宅獨習自在

今や實業の天下なり實業に智識乏しき者は必ず失敗す青年を救ふものは本誌也

先づ十大特色を見よ
▼第一特色 實際役に立つ學科のみを撰ぶ
▼第二特色 職業に從事する傍勉强される
▼第三特色 學校に通うと同じ學力が附く
▼第四特色 誰でも僅か一年で卒業出來る
▼第五特色 卒業後は立身出世が早い
▼第六特色 正副總裁顧問とも皆大家
▼第七特色 講師は全部一流の專門大家
▼第八特色 總振假名にて何人にも分る
▼第九特色 獎學金提供と入會金の全免
▼第十特色 僅な會費で座乍ら卒業出來る

總裁　大隈伯
副總裁　澁澤男

顧問
文部大臣 高田早苗
前農商務大臣 山本達雄
法學博士 新渡戶稻造
慶應義塾長 鎌田榮吉
東京商業會議所會頭 中野武營
日本郵船會社々長 近藤廉平
男爵 大倉喜八郎
前大藏大臣 阪谷芳郎
日本銀行總裁 三島彌太郎
安田銀行 安田善次郎
三菱 豐川良平
男爵 森村市左衛門

戰慄すべき失敗者千人の中にて七百五十人迄は實業の智識乏しかりしを發見せり

講習科目
▼第一 商業簿記　▼第八 商業數學
▼第二 銀行簿記　▼第九 珠算
▼第三 商事要項　▼第十 商業實務
▼第四 商業英語　▼第十一 商業地理
▼第五 商業作文　▼第十二 商品學
▼第六 經濟講話　▼第十三 實業歷史
▼第七 實業讀本　▼第十四 處世法

見本
▼見本入用なれば直に進呈す
▼見本には細大漏さず要領を示す
▼見本には入會手續一切を記す

會費	
壹ケ月	五拾五錢
三ケ月	壹圓四拾五錢
半ケ年	武圓八拾錢
壹ケ年	五圓五拾錢

△說明平易親切▽

申込所　東京京橋南紺屋町十番地　實業之日本社內　帝國實業講習會　振替東京〔illegible〕

登錄商標

高麗人三越幾斯

本品は朝鮮總督府專賣課所管人參を以て專門學者の監督の下に日本藥局方と最新藥學の方式に依り其靈妙なる成分を蒐め精製したる醫藥にして其効力や既に定評あり

今ま大家の臨床實驗せられたる一二の例を擧ぐれば左の如し

○老衰○神經衰弱○神經痛○僂麻質斯○腦病○肺病○腎臟病○痔疾○子宮疾患

▼精參　專賣課に於て紅蔘蒸製の際蒸釜より垂れ落つる汁を煮詰めたるものにして其製法及効力高麗人三越幾斯と全く異なれるを以て價も亦極めて卑廉なり當店にて販賣す

高麗人參製劑發賣元　京城鍾路　宜壽堂　井上藥品部

高麗人三　錠
高麗人三　流動越幾斯
高麗人三　丸

〔illegible〕小手取引所

昨年〔illegible〕に於ては昨年豐作の爲地味の〔illegible〕るに拘て加へて米價の安價なりしより自然施肥不足となり且又秋期に至て前後二回の大暴風雨の被害あり尤も一局部に限られたるも斯る點より見て各個人の調査は五千二百萬石と言い三百〔illegible〕

稻の栽培面積
自明治二十一年至〔illegible〕十五年　五箇年平均　二、七〇四、五一一、五
〔illegible〕十六年〔illegible〕十年　二、七七〇、七八四、三

右は大正元年九月發表したる統計である〔illegible〕
四六二八六、一三〇九
五〇六七四、九五四
一、四九七　一、六〇四　一、七二一

〔illegible〕

▲五日決場　大阪前中十四圓十五錢後寄二十二錢の入覽なるも二十七錢さ高移りに當地中十一圓十五錢より六錢引先十一圓十錢丁度と八錢高に寄付二錢さ押し〇八錢さ押して動かず〔illegible〕

▲後場〔illegible〕

〔illegible〕一萬四千五百石
平均　一節　十一圓〆九錢
二節　十一圓十錢
三節　十一圓十錢
四節　十一圓〆八錢

〔illegible〕月五日〔illegible〕文
低氣壓位置　咸鏡北道
低氣壓示度　七百六十耗
進行方向　東
警戒區域　北東部

第三十七回帝國議會

貴族院（五日）

▲附帶建議案提出

貴族院にては五日午後一時より豫算第一分科會を開きたるが左の附帶決議案提出せられたり（東京特電）

大正五年度豫算を審査するに時局の關係上多少止むを得ざるの事情ありとするも財政計畫其要を得ざるもの少からざるは甚だ遺憾とする處なり政府は大正六年度豫算編成に當り確實なる財政計畫を立て特に左の事項を實行せられん事を望む

一、大正五年度海軍補充に關する豫算には協贊するも將來の施設に就ては財政計畫に伴ひ提案せらるべき事

一、鐵道に就ては軌制に關する方針を決し適當の計畫を樹つる事

一、鐵道の經營に就ては財政の許す限り一般會計より借入に依らずして他に適當の計畫を樹つる事

衆議院（五日）

政府對貴族院の妥協成立し政海の低氣壓漸く去りたる五日の衆議院は日程に何等見るべきものなく傍聽席は六分の入りにて議場は開會前早くも情氣滿々たり午後一時十分開會諸般の報告例の如く終りて開會劈頭佐々木安五郎君（國民）は例により議場の秩序に付一言すべしとて登壇曩に長崎控訴院移轉問題討議中豊島政府委員の言辭は主務大臣を無視したる不穩當の言と認め議長に質問せるに議長は止さすべき旨を答へ置きながら今日に至るも何等の報告無きは如何と議長責めを始むるや議長は取消さしむる程度に非ずと答へ（二三）押問答あり次で小久保喜七君（政友）は自席より登梅谷に關する質問に對し再質問をなさんと欲し首相の出席を求め置きたるが議長は之を通じたるやと質し議長は首相と打合せの上決すべしと答へ日程に入る

▲北海道裁判所區域法中改正法律案 委員長より延期の申出あり延期次に

▲紛爭仲裁法律案

▲高木益太郎君（國民）の說明ありて委員附託

▲古物商取締法中改正法律案

▲米田實君（同志）の說明あり委員附託

▲愛知縣三重縣境界變更に關する法律案

▲三輪市太郎君（政友）の說明ありて委員附託

▲醫師法中改正法律案

▲小池仁郎君（同志）の說明あり岩本平藏君（政友）は政府は本案に贊成なるや否やと糺し藤澤內務參政官は政府は本案に反對なりと答へ委員附託

▲私立學校及び公益法人の要地免租に關する法律案

▲山口嘉七君（同志）の報告ありて可決確定

▲軍人恩賜法中改正法律案外三件 議長は本案は重要案なるを以て大藏大臣の出席說明を求めたるも目下病氣中にて延期の要求ありたりと述べ

▲柏原文太郎君（國民）は本案は本期議會第一回の議員提出案なるに拘らず今日迄日程に登らざりしものなれば此の上延期は不可なるも止を得ざる事情なるを以て來る八日の日程に上すを條件として延期すべしと提議し

▲樋口秀雄君（同志）は來る十二日上程の議案中に本案と關聯せるものあるを以て其の時期迄延期すべしと提議し高木正年君（公友）村松龜一郎君（同志）の兩氏は八日說に贊成し採決の結果八日上程に決し次は

▲衆議院議員選舉法中改正法律案

▲箕浦勝人君（中正）は委員會に於て修正可決せりと報告し報告通り可決

▲濠洲及び南洋の排日除去に關する建議案

▲南太平洋航路開始に關する建議案 兩案を一括して小西和君（中正）の說明ありて委員附託

▲財團法人同仁會事業國庫補助に關する建議案

▲加藤小太郎君（同志）の說明ありて委員附託

▲酒造稅納期繰下げに關する建議案

▲川上榮太郎君（政友）の說明ありて委員附託

▲岐阜多治見間鐵道複線敷設に關する建議案、飛驒縱貫鐵道速成に關する建議案

▲國籍選擇に關する建議案、

右兩案を一括して匹田鋭吉君（政友）の說明あり委員附託

▲慢性傳染病防止建議案

▲田畑地價修正に關する建議案

▲淀川水利に關する建議案

▲敦賀舞鶴間鐵道速成に關する建議案

▲有栖川神社建立に關する建議案

▲神戶港設備完成に關する建議案

▲枝光製鐵所官民共同經營に關する建議案

▲大阪臨港鐵道速成に關する建議案

▲海洋調査及び研究機關設備に關する建議案

以上各建議案に就き夫々提出者より說明ありて何れも委員附託に決し午後六時散會せり（東京特電）

貴族院別報

五日午後貴族院豫算第一分科會を開き大藏省所管豫算全部を議題とし議…

相は內閣を代表して內國債二千萬圓發行の計畫を立て不日之れを追加豫算として議院に提出す可く右は外國債の償還に充つ可し尤も國債整理基金法には別に改正を加へざるも單行法を以て（內國債を以て外國債を償還する場合に於ては國債整理基金法第五條に準據せざることを得）との規定を設け以て計算上利益なき場合に於ても內國債を募集し外國債を償還し得可き除外例を設定すべきことを言明し田中、花井、石渡、敏一、橋本圭三郎、水野錬太郎諸氏との間に質問應答を重ねたる後討論に入り石渡氏は帝國鐵道貸付金二千萬圓の款項を削除するの修正案を提議し前田子爵は政府が政治道德上の反省をなしたる結果貴族院要望の趣旨を參酌し法律案及び追加豫算案を提出し以て豫算の不成立を防ぎ政局の安定を計らんとする苦衷を了し（鐵道の經營に付ては財政の許す限り一般會計の借入に依らず他に適當の計畫を立つること）の希望決議を付して政府案に贊成し採決の結果前田氏提議の通り可決せり（五日夜總督府着電）

還元妥協案と與黨

同志は全會一致同意中正會は熟考に決す

▲同志會 同志會にては五日午前十一時より本部に於て議員總會を開き加藤總理以下代議士百四十名出席村松氏會長席に就き加藤總理より大隈首相と會見顚末を述べ且つ自己の意見として今回貴族院の一部より提出したる妥協案は豫算面には何等の修正を加へざる事吾人の希望と異り完全なるものとは思はれざれども亦無理なる條件とも云ふべからざるのみならず本會の主張と何等牴觸することなしと信ずと述べ一二の質問出たるのみにて全會一致同意に決し平靜に上院の成り行きを待つことゝし機宜の措置は幹部に一任することゝし正午散會せり

▲中正會 中正會にては五日午前十時院內控室に代議士會を開き尾崎法相より上院對政府の兼金還元問題に對する交涉顚末につき詳細なる報告あり之れに對し花井卓藏、田川大吉郎氏より本問題に對し直に賛否を決するは早計に失するを以て熟考の上決すべしとの意見出で一同之れに贊し正午散會せり（東京特電）

妥協案に異議なし

研究會も幸倶樂部も同樣

▲研究會 にては五日午前九時より同事務所に於て總會を開きたるが出席會員八十餘名にして岡部長職子より大藏部會は既報の二千萬圓削除を決議したるも各派と交涉の結果更に妥協案に決したれば滿場同意あらん事を希望すと述べ二三の質問ありたる而已にて妥協案に可決散會せり

▲幸倶樂部 にても五日午前九時總會を開き出席者九十餘名田中、木兩男より妥協成立までの各派交涉顚末を報告し種々の意見出でたるも結局多數の意見妥協案に決し十一時散會せり（東京特電）

奉天某將官の獨立計畫

奉天軍界に重要位地を占め居る某將官が奉天省の獨立を計畫しつゝありとの報北京政府の耳に入り統率辦事所參事官龍子觀偵察の爲め密行し來れり（奉天特電）

革黨一網打盡準備

段上將軍は革命黨の有力者趙重古外數名を買收して東三省內の黨人を探知し一網打盡の準備中也（奉天特電）

東拓移民（九）

江景出張所管內

（二）移住民と地方（4）

▲移民渡來に伴ふ間接移民の狀況

移住民の收容は獨り鮮農者の利益を增進するのみならず地方內地人即ち他の移住者の經營上生活上にも多大の利便を附與するは一般の認むる處にして殊に從來郡廳所在地として相當發達せる都邑にして府郡廢合の結果遂に居留民の數を減少したる地方の如きは盛に移住民の招致を希望して止まざるは諸種の經濟的施設に對し當然の要求と云ふべく是等の方面に於ける移住民分布は其地方の發展上極めて重要のことに屬す更に會社が收容移住民の進展に對し如何に其保護指導に厚きかは他の居留內地人の農業に志あるものをして著しく移住民熱を勃興し何れも會社移住民として其利益を享受せんことを欲し年々移住申込者數の激增する現象に照しても察知するを得べく例へば他移住者の十數年を要し多額の資金を投じて僅に得たる諸般の施設も會社移住民は數年ならずして能く之を大成し得るが如き其一例にして[illegible]即ち會社移住民は能く一反步にして數石の收穫を得べき優良なる耕地の割當を受け其生產力に於て殆ど內地の水田と異なき土地を僅か四五十圓を以て購ふことを得若くは長期濟し崩しの便法に依り其代金を償却する如きは他移住者の到底企及し得べからざることなりとす加之其經營上に對しては種籾、肥料、耕牛農具等の無料又は低利の貸付を受け冬期農閑に至れば副業の獎勵として製繩器、製莚器等の貸付を受くる如き其他子弟の教育上に關しても一地方に學校の建設をなすことは少數內地人の容易に實行し得ざることに屬すれども移住民の子弟教育の爲めに特に學校建設等の場合相當の補助をなし其負擔を輕減せしめ縱し完全なる學校の設備をなし能はざるも是等の場所に對しては會社自ら兒童預所を設けて通學に差支なき便法を講ずる等他の移住者が多く望みて得ざる教育上の不便も移民は移住の當初より容易に之が利便を享受するを得又衞生上に關しても罹病者には最寄の醫師に囑託して藥價の割引をなさしめ傳染病發生の場合は豫防又は消毒に要したる費用を支出するが如き何れの方面より見るも特別の保護に依り堅實なる發達をなすべき地位に在り

忠南縱橫記（五）

鯨洋生

◎門を經て長官邸に急ぐ、官邸は道廳構內の一部也、玄關に到り案內を乞へば、長官夫人自ら出で迎へらる、洵に恐縮千萬也、やがて應接間に入れば、折柄長官は花田地方課長と喫烟を閒んで談笑しつゝあり、久濶を敍し室內を一瞥すれば、高木背水畫伯の其他二三氏の洋畫の扁額あり、一方には[illegible]あり、淡白とした室內の裝飾は氣持よし、間もなく澁谷第一部長の來訪あり、主客四名、暖爐を圍んで閑談雅話盡きず、[illegible]共進會[illegible]未だ何等[illegible]而も滿腹の經綸を藏するの色眉間に輝く、共進會の結果に就ては、未だ其の[illegible]の用明はなきも、其の擴大人民に及ぼしたる影響は甚大なるべきは疑を容れざる也、一例を上げんに[illegible]老人あり、京城行などは以ての外なりしが人々に勸誘せられて、遂に共進會見物に出掛け[illegible]

◎[illegible]共進會見物の[illegible]

[illegible]

滿洲銀行と大連

今回議會に提出せられ下院に於て委員附託となりし滿洲銀行法案に就き本店を大連に置き一覽拂手形及び割增付債券發行の事及び配當補給を年八分とし補給年限を二十年とする事等の修正を希望する者多く、當地商業會議所は役員會を開き右修正案を決議の上四日電報にて修正方を石本岡部兩三代議士に申込み當路關係大官にも通電せり（大連特電）

忠南苧布狀況

忠南舒川郡に於ける農家唯一の副業として又古來朝鮮に於ける特產地として有名なる舒川郡は現在製織者戶數七千戶郡內總戶數の半數以上を占め產額七萬疋以上に達し總價格二十四萬餘圓にして他に比類を見ざる盛況なるが郡に於ては苧布組合を組織し檢查の制度を設けて之が尺幅を一定し常に品質の改善產額の增加を獎勵し販路の擴張を圖り專ら本事業の發達に努めつゝある結果頗る良好なる成績を收むる現況にあり而して本事業は古來當地方に於ける特產として有名なるものにして其製法等極めて單純にして何等染色を施したるものなく未だ幼稚の域を脫せざるは誠に遺憾とする所なるを以て將來の計畫として郡所在地に機業傳習所を設置し地方の子弟をして一段進步の技術を授け郡內各地に於て相當資力者共同して小規模なる製造工場を建設し傳習修了生をして苧布製織に從事せしむると共に民間苧布事業と相俟ちて漸次本組合の事業をして發達せしむる計畫なりと（公州）

南言北語

一時は喧嘩腰でサア來いと揚鉢卷は締めたものゝイザとなると腰が決らず▲愈々危篤に迫つて最う駄目かと思つて居ると妥協と云ふ調法な談合から相手の鋒先を避けた處は窮して通ずる處である、ンであるテナ事であらう▲兎に角內閣も先づホツト一と息ついたンであらうが此事を聞いて一番羨む者は袁總統だらう▲雲南が意外に手古摺るのみならず北からは蒙匪が近いて來るから腰がムヅ〳〵して來たらしい▲其處で北京に頑張つて居る碧眼の小父さん達に何うか何んとかなりますまいかと泣き付いても取り合つては吳れず▲結局雲南と妥協だか▲其の妥協が出來るか何うか出掛けたが扨て妥協なるものは大分好い事は云つて居るけれど帝政の帝の字もない▲元來帝政から出た火を消すのに帝政に一言も及ばない處はズルイ▲妥協と云ふよりは駄協に過ぎぬつまり欺す者へだから心得違ひだ▲其れ〳〵其の間に上海には參議院が出來て憲法を制定して袁總統に辭職を迫ると云ふではないか▲而も其等の首領株には袁總統數十年の股肱も居ると云ふから袁總統は一層心痛だらう▲憲法が一國內に二つも三つもあつて堪るものかと云つた處で制定すると云ふから致方がない▲鳥渡北京にも一つ上海にも一つ其れから南方革命軍で制定すれば都合三つ出來る譯だ慾にも程がある▲して見ると支那は先づ北京政府を中央とする一箇國、上海を中心とする一箇國、而して革命軍の一箇國と都合三箇國出來るのだらう▲三國時代は古いものと思つて居たら復た出來るらしいヘン歷史は繰り返すものだよには恐れ入る▲歷史を風車の樣に心得て居るから支那の兵隊さんは官軍になつたり革命軍になつたりするのだ▲蒙匪の內にも木伊乃取が一箇旅團も居ると云ふではないか

▲大阪より

經濟界の現象（一日大阪）

[illegible]增加を示せり其盛況の細番事のみ減少し他は皆增加せり右の如く二萬三千餘個の大阪在荷は斯界空前の現象[illegible]

▲支那電話引受 舊臘中日實業會社[illegible]行公司斡旋の下に三井物產其他本邦商會[illegible]引受する[illegible]物產住友電線古河合名藤田組等は銅及び銅線類を神戶電氣商會は電話機を[illegible]商談を躊躇して商內思はしからず[illegible]

▲砂糖濠洲輸出 最近神戶の商談中[illegible]るべき數量につき目下某商店は輸出[illegible]

▲漢口運賃引上 歐洲戰亂以[illegible]新聞[illegible]業者間に協定運賃値上の議熟したる結果漢口上海間運賃を平均約三割方引上げ尚漢口日本內地各港間[illegible]增加の傾向あり本年多期の[illegible]に移入を努めたる九州炭は需要[illegible]

第拾九期營業報告

貸借對照表（大正四年下半期）

負債之部	
諸預金	壹、〇六九、〇九六・五八
支拂送金爲替手形	四、四壹八・七五
諸借入金	九八、七九〇・壹七
他店ヨリ借	壹参〇、〇七六・〇七
本支店未達勘定	四、七弐五・七弐
政府下貸金	弐八九、五参六・五〇
資本金	五七五、〇〇〇・〇〇
諸積立金	弐弐五、壹〇〇・〇〇
未拂配當金	五壹七・七六
當期利益金	四九、参五壹・六九
合計	弐、四四六、六壹参・弐四

資產之部	
諸貸出金	壹、壹壹六、四六六・五五
割引手形	六七壹、四八六・八弐
荷爲替手形	九七、壹五〇・五壹
預ケ金	九、四九参・四四
有價證券	弐〇参、〇九四・五〇
他店へ貸	四五、八九弐・参壹
假拂金	壹〇、六弐七・参四
營業用地所建物什器	八弐、八七五・〇〇
倉庫	壹壹弐、七〇〇・〇〇
抵當質物流入物件	七、九参壹・〇弐
金銀有高	八八、八九五・七五
合計	弐、四四六、六壹参・弐四

損益勘定

一金四萬九千參百五拾壹圓六拾九錢 當期利益金

此配當計算如左

金壹萬五千圓 諸積立金

金壹萬九千八百四拾七圓弐拾五錢 配當金（年九分）

金壹千參百圓 重役賞與金

金壹萬參千弐百四圓四拾四錢 後期繰越金

右ノ通リニ候也

大正五年一月

株式會社 朝鮮商業銀行

漫りに投機心を挑發し、相場大に遣るべしと爲す者に非らざれど、一度相場の中樞地、堂島米市場に乘り出して、雄大なる期米戰を試みんと欲せば、本紙によりて、定評ある市場表裏の消息に明通せらるべし

毎月二回發行 大阪今延米報 無代進呈

取引御希望の方に營業案內及富の栞を進呈し更らに新裝の週刊『今延通報』を以て市況御參考迄に御報可申上候

大阪堂島米穀取引所仲買 今延商店 電話北長四六八・四六九・四七〇 自宅南長四五六番

●大勉強仕候● 淺草海苔 東京府下大森町 電話大森四一一番 藤森商店

種苗 目錄申込次第進呈

▲朝鮮の農家は寒地なる弊園の種子を用ゆ ▲寒地の種子は早熟強健豐產が大特色 ▲弊園は世界に於る各種の最新種を育成

弘前市取上田町 北日本農園 振替東京二〇三六九

新刊書御案內

書名 著者

◎日本歷史通覽 高橋

◎明治文明史 小林

◎改訂倉庫論 小林

◎肥料的麥作改良法 鈴木

◎家庭衞生治療と調劑 河合

◎電線製造法 田中米一郎

◎教育の革新

◎佛語時の用法 ジュ・プスケ

◎我が書翰 五十嵐力

◎英文書翰集 駒井

◎現代美文選集 桑田

◎朝鮮の金、鑛 野田

◎新式初學作詩法 平井

◎安心 南條文雄

◎宇宙（縮冊） 三宅雄二郎

◎從軍三年小敵大敵

◎禪心

◎新譯西國立志編 栗本古城

◎日蓮 村上浪六

◎野心論 海柳政太郎

大阪屋號書店

京日案內

◎普通 一回前金三十錢（四行以內）增一行毎に金五錢

◎看護婦及見習生募集 希望者は本人來談を乞ふ 仁川 川畑病院

◎新聞配達人 至急募集す 身體強健にて希望者本人直接來談 新龍山漢江通 町田新聞舖 327

▲古本買受▼ ▲御報即時參上▼ ▲地方即時送金▼ 京城本町電話二五二七 ウツボヤ書店 318

◎看護婦募集 希望者は履歷書携帶本人來談あれ 仁川 小倉病院 320

外交員採用 月給十五圓以上希望者履歷書携帶本人來談 京城花園町二番帝國圖書普及會朝鮮支部 321

▲讓店 賣れ行良好なる有望菓子舖且居住に最便なる希望の方は電話二九四九番へ 323

◎讓店 場所本町二丁目の目拔の通り希望者至急來談 ◎京城黃金町三丁目（櫻井町曲り角） 平野古物店 316

▲園藝大會 會費一人一圓 會場 本町四ノ一三三 二月六日正午 川上菓舖 328

◎古本買入 御報參上 京城本町二丁目（明治町筋） 電話二六三六番 野村書店 319

◎番外 一回前金六十錢（四行以內）增一行每に金[illegible]

●はねつき（うちみ）くじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術整骨 302

茶花琴教授 料金月謝のみにて教授す 太平通二ノ一四朝鮮公論社前入一丁目南大門學校北裏 300

人蔘キャラメル ●人蔘キャラメルは[illegible]商會の（[illegible]）に限る……本品は至る所の食料品店菓子店に販賣致し居れり 291

恩給年金類立替 ▲勸業貯蓄債券月賦販賣 買入 京城本町二丁目五三小路入 京城銀行横 吉田屋 322

好職 利益多大美術ゴム事業 男女誰でも出來本業又は副業に適す志望者は來店又は郵券十錢送れ案內書及製品見本送呈す 京城太平通二大漢門前 大陽ゴム商會 302

京城日報 初號より四十三年末迄取揃へ相當代價に讓受たし（住所姓名在社）

月二十七…を激增し前年同期に比し約九割方の…も多し
の大體に於ける關係者の振合は三井…昂騰を見越して値段の如何に拘らず…
九州炭…撫順炭に對抗の目的を以て昨秋來頻…値上を爲したれば今後は…

◉緬羊の群を訪ふの記

洗浦牧場ものがたり

（三）北歐の高原に似た絶好の避暑地　番犬に護られる愛らしき仔羊の群

『由來羊といふ奴は、性質が温順で臆病で、むかし狼から難題を吹きかけられても御無理御尤で泣寢入したほどの動物ですが、其の群を爲すと云ふ潔癖なとは諸君のすでに御承知の通り、假りに

牧場＝の草なども

一旦踏みつけられたものは決して喰まぬ程な神經質です。其れから又小高い丘の岩などを見ると、必ず其の上に登りたがる性質を有つて居ります。此處にも近く羊番犬が來る筈です、元來一匹の犬から制御せられる位の動物ですから、全く優しい女のやうな奴です』と事務所の末松君は笑ひながら言つた。緬羊は昨今此の高原の寒風に吹かれ乍ら澤山群を爲して歩いて居る。而も昨年一月中の洗浦の氣温は最低零下三十度に達し今年の如きも二十度内外に降つた事もあるから、有繫の蒙古羊も昨今は寒いに相違無からう。然し遠からず暖かい春が此高原を訪れて野原一面

草花＝の綺卷物こ

になつた時はこれ等の緬羊も悅ばしい面色で若い青草を喰べるであらう。また昨年洗浦の初霜は九月十五日に始まり、終霜はまた六月六日であつたからこれから追々金剛山行きの旅客が此の高原の驛に下車する頃には大陸らしくまた西歐の田舍に見るやうな放牧の眺めが如何にも旅人の眼を樂ませるであらう。又羊の仔は主に暖かい陽春四月の頃を待つて産ませる事にしてある。猶ほ剪毛の時期は五月中下旬の頃から始まる。その剪毛の方法は緬羊を庭に轉がしたまゝ大きな米國製の剪毛鋏をもつて羊の腹部から前後左右にかけて、一板の毛皮を剝ぎ取るやうに刈り取つて了ふ、現に昨年分の素毛は、約三十貫もあつたと云ふが、これはみな

製絨＝會社に送て

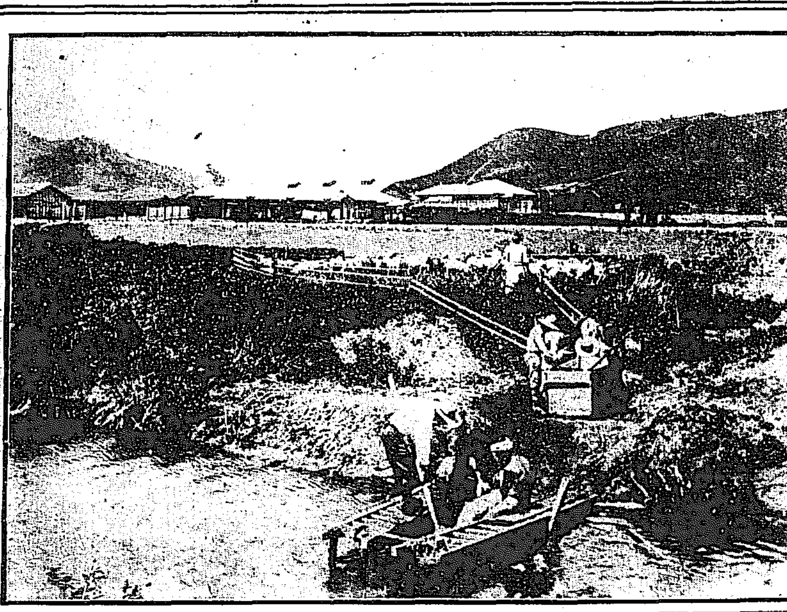
幡州加古川の毛布を作つた。——剪毛は上手な人で一日十五頭乃至廿頭を片付ける。又洗浦出張所では昨秋共進會で金牌を貰つた慶北金泉産の朝鮮牝牛と忠南大田産の牝牛を飼ひ、猶ほ洋牛シンメンタールの牡牝をも飼養して居るが、近く競馬事業も開始する豫定である。また洗浦の高原に美しい草花のあることは實に京元線第一と云ふべく、毎年春から夏にかけては觀賞用として汽車便により京城に送るものも尠くない。殊に風流な人達は、可愛らしい鈴蘭の小白花を紙に包むだまゝ自分の衣嚢に入れて香水の代用に用ゐて居る。尙ほ姫百合には

眞紅＝薄桃色、純白

の珍種もあり、春は滿山の躑躅花から薊花うめばち草を始めとし、内地で見る菜種畑のやうに野原一面に黃色な『きんぼうげ草』の花が咲く。また珍らしい南山葉の花もあれば、ゆかりの色の杜鵑花も咲く。そして秋は千草七草の咲き亂れる中に、珍らしく綺麗な野生の黃金菊が咲く。これは金扇草の花瓣に似て經一寸以上もあるが、莖の高さは一尺乃至六寸にも伸び、栽培した菊よりも美しいとの事。また八重の石竹、櫻草など、凡そ美しい草花は何んでもある。藥草としては、曾て中井猛之進博士の發見した赤痢藥『げんのしようこ草』もあれば、『たうこぎ草』もある。此の地はまた

朝鮮＝の輕井澤こ

も云ふべき絶好の避暑地であつて盛夏の最高温度卅一度、蚊も居らず、浴衣の必要もない。そして京元線第一の名勝地三防の幽峽にも近く、山の瀑水浴には日歸りが能きる。兎に角洗浦の高原は朝鮮に於ける別天地であると云はれる。（終）



羊の毛＝洗浦牧場にて剪りとりたる羊毛を洗ふ、時は晩春

◉酒の値が上るかも知れぬ

上戸黨の頭痛＝灘の酒が腐る

歐洲大戰亂のお蔭で飮酒家の大恐慌を來したのは露西亞ばかりかと思つたら日本の飮酒家もボツ〳〵打擊を受けてゐる、と云ふのは何かと云ふと獨逸から供給を仰いでゐた防腐劑サルチルサンの輸入が開戰と同時にバツタリ杜絶えた爲に

回今では價格が戰爭前の十倍にも上つてゐる

そこで日本の科學者も苦心してサルチルサンの製出を試みたが未だ其價値を充分に認められず漸く本年度になつて其處此處に試用する者が現はれたから海の物か山の物か遠からず判然するであらうが兎に角今の處和製は猶ほ不安心なるを免れないので大釀造家は多く戰爭前から買溜の獨逸製を使つてゐるが其れもどうやら殘り少になつたと云ふから心細い、それから値上げの原因はモ一つある開戰以來各方面に小成金が雨後の筍の如く出來

回各種の事業は勃興して時ならぬ上景氣と大典の景氣とで酒の賣行が非常に宜しかつたから一昨年造つた酒は何處へ行つても殆ど拂底の姿だ本來灘の酒は新酒の出る四月頃と冷卸しの出る、九月頃と年に二回値段の變動のあるものだが去年はソンナ事には一向お構ひ無しにジン〳〵値上げをした、此上は本年度の新酒の出るのを待たなければならぬが其新酒が又今年は非常に不出來の兆候を現はしてゐる、灘一帶に他地方と比較して仕込みが遲いから未だ確とした事は云へないが昨今の暖さと夜との温度の差異が甚だし過ぎる爲に各釀造家共警戒を怠らず技師連中も必死になつて事を未然に

回防がうと努めつゝある矢先九州や堺邊りの釀造家は莫大の酒を腐らして了つたと傳へられてゐる、腐つた酒は一石廿圓の税金を免除して貰つて酢にするより他に策は無いが釀造術の進歩した今日酢にする程腐敗して了ふといふやうな事は餘り無く火を當てるとか何とか應急の方法を施すから大抵は助かる見込みがあるけれど勿論

回品質は下落して劣等酒に編入する外は無い

に甘い醇い酒の値は騰る一方だ一體天候だの温度だの水質だの天然人巧相俟つにあらざれば醇良酒の釀造がむつかしいと云ふのは日本酒に限られた事だが戰爭と天然とが共謀になつて飮酒家に仇をするなぞは左黨に取つて何といふ不幸な事だらう（大阪）

春近し　散步

◉汕頭丸入港

五日夕釜山着

既報の如く三日木浦を發し四日午後三時釜山着の筈なる大阪商船所有汕頭丸（一〇四五噸）は定刻に至るも入港せず搜索中のところ五日夕無事釜山に入港せり（釜山特電）

◉朝鮮短歌大會の開催

紀元節パコダ公園にて

京城に於ける短歌會は各所に小集團をして時に盛衰はあつたが未だ一團となつて大に會した事はない地方の仁川、釜山、春川其他に於てもさうだ今度全朝鮮の短歌會を一つに纏めた大會が開かれる事は朝鮮短歌會に於ける新轉機であると同時に又何等かの緒となるかも知れない規は昨紙朝刊にもある如く十一日紀元節當日午前十時からパコダ公園内カフエーパコダで開き短歌の大會をし論評を爲す豫定で原稿及出席希望者名は其前々日迄に本社内同會幹事宛送り之を印刷に附し（偽投稿者名は印刷し）て當日出席者に配布し單に投稿のみで出席不可能の者へは郵送することゝ定めて盛會であらう散會後行志者のみの懇親晩餐會をも催ほす筈だが投稿せずに會に丈け出席してもよし出席不可能の者は投稿丈けしてもいゝとのこと總て九日正午迄に社内幹事宛送稿乃至出席通知の事

◉飛行機奉天著

十四日より飛行

奉天にて試驗を行ふべき飛行機四臺は五日著十一日より組立に著手し十四日より飛行を行ふべしと（奉天特電）

◉京仁地方は今日も曇天？

五日の午後二時三十分に警戒區域は朝鮮南部として『風強かるべし』と云ふ暴風の警報が出た、五日の午後六時頃には滿洲地方に七百六十二粍と臺灣近海の東海岸に七百五十六粍といふ二個の低氣壓が出現した、併し日本海一帶は高氣壓で七百六十九粍を示してゐたが、南方出現の低氣壓は漸て優勢に支那大陸上海地方に迫り稍東北へ進行する傾向がある爲め遂に南鮮地方は其影響を受け尚ほ中部の京仁地方も餘波を受けて五日は曇天である、此曇天は六日迄續き幾分の雨を見るであらうといふ（京城測候所員談）

◉明巣覗ひ

黃海道延安郡湖東面生れ住所不定金泰仁（二二）は一月二十九日夕刻京城櫻井町二丁目の營野方家人の不在なるを窺ひ表戸の錠前を引拔きて侵入し時計一個を窃取して逃走せんとする處を本町署の巡査に逮捕されたり

◉阿片飮み

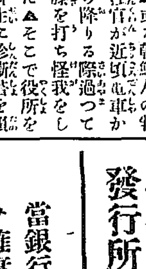
京城鍾路三丁目關妖女（三）同尹聖炳（三）醴泉洞醫生沈鐘禹（三）等は何れも阿片煙を吸食したる爲め鍾路署の手に檢擧されたり

◉武術會の兎狩り

總督府の有志の組織に係る京城武術會にては總務總監部、憲兵隊司令部其他の有志一月八日より毎早朝憲兵隊司令部道場にて擊劍柔道の寒稽古を實施し來りしが六日終了式及び褒賞授與式擧行を兼ね東小門外牛山牧場附近にて兎狩を催す筈にて午前九時前記集會所出發各自辨當持參會費不要の由因に同會名譽會長たる立花中將酒肴料として金若干寄贈あり又陣内氏の武德館員も右兎狩に參加する由

◉塚谷氏の新年會

塚谷洋品店主塚谷二郎氏は恰も舊正月の四日午後六時より清華亭に於て市内の主なる知己友人新聞通信社員其の夫婦約三十餘名を招待し之れに同店員より餘人なる新年宴會を催したり餘興としては花街の紅裙二十餘名の手踊、女義太夫、博多二輪加等あり各自充分の歡を盡して十時散會せり



▲或る朝鮮人の判任官が近頃電車から降りる際過つて膝を打ち怪我をした▲そこで役所を休むために近所の醫生に診斷書を賴むと醫生先生の病症診斷に曰く『電車落傷症!!』▲醫生の診斷書と言へば死亡檢診の際に死因をトラホームだなど書いて警察官を手固摺らせるのがあるさうな▲黃金町界隈には妙な婦人の居る飮食店が殖えたが二三日前或る人が黃金町の汁粉屋へ子供を連れて行つて注文するとそこの女主人が平氣な顏で『お汁粉は今、洗湯に行きました!』

朝鮮一

各道第一部長は語つて曰く＝＝

鐵、硅砂、金、

黃海道第一部長　田中遷氏談

我々の樣なものに話させるのは恐縮千萬だが茲に留守中に御來訪下さつた野田東拓副總裁の名刺があるので思付いたが先日副總裁とお會ひした時に大に鑛業富國論を聞かされた事がある其鑛産は恐らく朝鮮各道中黃海道が第一であらう鑛業と云つても種類はあるが産額から言へば金の方が多く朝鮮一と言へば鐵だコールブラン氏の遂安、小林氏の樂山、竹下氏の延白其他で大正四年中二十萬貫目を産出してゐる本道の鐵は全鮮に比類が無い西崎氏の載寧（最近一年間産出額七萬噸）麻生氏の安岳（同六萬噸）富田氏の殷栗（同六萬噸）等を主として其他黃海道の鐵の將來は正に朝鮮を富ますに足る三菱が兼二浦に鉅萬の資金を投じて製鐵所を經營せんとし著々工事進行中なる所以も茲にあるので二十箇年は經營し得ると云ふ事だから一年三十萬噸の製鐵量として六百萬噸は出來る次第である南鮮地方に比すれば山所が多く從つて礦産が多いのだが其れでも米産額八十萬石あり優に西鮮第一と稱すべく水産も七八十萬圓はあり更に窯土の優良なるものあり甕津、長淵兩郡からの硅砂（硝子製造原料）は朝鮮一たるを失なはぬ

米、魚、釜山の港

慶尙南道第一部長　佐々木正太氏談

慶尙南道に於て朝鮮第一の許しを受けるものは可成に澤山ある海岸線が長い爲めに海産物も多く年額四百七十萬圓と云ふ漁獲で朝鮮一、陸上では米産額百六十萬石で朝鮮一、綠肥大豆の作付五千百餘町歩で朝鮮一、其れから内地人の數から行けば京畿道の方が多いが各地に散住してる爲めに學校組合の數は朝鮮一で五十三箇所、釜山の位置が朝鮮の南端であり其港灣の位置が東亞の玄關、歐亞聯絡の鎖鑰たる爲め總督府が施設した設備は朝鮮一は愚か東洋一と稱してもいゝ譯だ、然も其町は長崎縣の釜山港と小唄に迄うたはれた樣に朝鮮一の古い日本人町であり其今日の發展は一に商港として重きを爲して來た譯だが對日本内地の移出入額を初め露領亞細亞、滿洲南支那への輸出入貿易額三千二百二十五萬四千九百九十一圓（大正四年自一月至十二月）で仁川より超過する事一千百何十萬圓の多額である考へればまだ澤山あらうが餘り澤山並べると他道にお氣の毒だから先づ此位でよして置かう

■勿見落■給

今般弊店專其品質の聲價を知らん人なき「まれ味噌」を特約販賣仕候處目下原料騰貴の爲め好ひ顧客樣に對し從來の値段にては迚も遺憾ながら自然品用を滿す能はざるは素よりの處……然るに弊店にて此期に當り平素の御得意樣の深き御同情に報ひん爲め奮勵勉強さ最目に注意を拂ひ從來の値段より一層安價に提供仕るべく候間陸續御用命あらん事を偏に奉願候

■一貫目　廿七錢
■五貫目以上持に御相談

▲御用命の際は必ず電話二四六を御忘れない樣に御願ひます

味噌　醬油　清酒　卸商　內田龍山支店
新龍山漢江通郵便局前　電話二四六　振替京城一九二四番

優等清酒

福岡縣三井郡山川村　釀造元　富安本店
京城永樂町二丁目　發賣元　富安京城支店　電話一〇一九番　振替口座四三九番

京城電氣株式會社製品
コールター　特約販賣　龍山漢江通八番地　巴商行　樋口米太郎
鎮鑰其他鑄造製作　久保田鐵工所代理　同　工場　電話四二二四番
電氣用品工事設計請負　中村製作所代理　同　支店　京城黃金町三丁目三四〇番　電話一四二五番
石財販賣（當方持山）

各國時計　自轉車　蓄音器
直輸入　卸商　喜多金光堂　京城黃金町二丁目（電話一〇二五番）振替口座七八二番

特價發賣申込の好時

銃獵之趣味

靑坡　吉村君潔　著

見！銃獵の手引＝多獵を希望せん人！＝朝鮮の獵地を知らんとする人＝

銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心醉して遂に身命を損ふ者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處なり道は其の銃器を惡知せざるが爲めなり

本書は銃器の如何なるかを説き著者多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せて詳説せり

獵犬の使用と善惡を説き朝鮮の好獵地を敎へたる處始めて「スポーツマン」たらんとする人は元より獵家必讀の好著たり

定價四十錢　特價金三十錢（郵税八錢）
發行所　京城太平町二丁目　京城日報社　振替京城三〇〇番

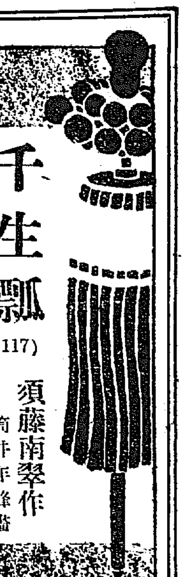
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城　朝鮮銀行

電話（四）三一番、（四）一〇六、一一二六〇、一二六二…　振替貯金口座京城三三三番

支店出張所　東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春

右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候



千生瓢 (117)

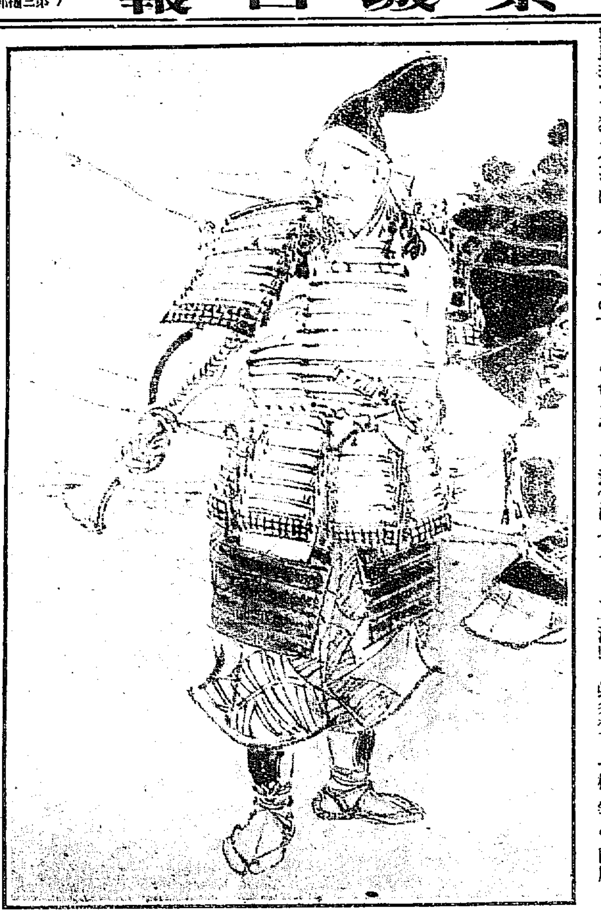
須藤南翠作　筒井年峰畫

忠烈 (三)

天正十年癸未四月二十一日の朝、辰の下刻に志津ケ嶽を一散に下し來たつた、羽柴筑前守秀吉は、こゝに軍を控えて、今曉よりの合戰に、快よき勝戰して、意稍や驕らんとする諸將を聚め、嚴重に戒飭した。『是れより狐塚の本陣を攻め討つに就いて、改めて下知を傳へ申す。方々の勇戰に依つて、敵は散々に敗北致しておざれば、今斯く大軍を以て追ひ蹙つに於ては、一擧に蹴散らかさんこと、何の造作もおざらぬげに考ふるは、大なる過誤の基おざるぞ。窮寇は追ふべからずと、申す如く、窮鼠却つて猫を食むは、今日までの實驗に徵して、屢ある例しおざる。殊に敵は敗戰知らずの柴田修理おぢや。能く心して戰かはねばなり申さぬ。されば是れを追ふにしても、決して長追は無用おざるぞ』是れより先は山間の谷狹く、至つて難所が多い。勝家ほどの老功の者が、此道筋に備へを爲さぬ筈はない。『軍は充分に勝ておざるぞ。軍を持つことは、誠に難いものおざるぞ。狹い處に敵を見たならば、貝を吹いて勢を縮められ。廣い處に敵に遭はば、鼓を鳴らして氣を張られう。唯今より鎧の上帶を強く締められい。馬の馬腹も締め直されい。采を取るまで兜をば著られまい。』秀吉は斯う逐一に條項を說き示して、案內者を先陣に立て、惣軍一齊に進發した。此時既に日は中天にさし昇つて、首夏の天の朗かに晴れわたり、日向はゝや暑氣を感ずるばかりであつたが、秀吉の過る處は、敵味方の死人傷者、累々として打ち倒れて、烈しき目に照らさるゝ狀態、いかに悽慘の極みであつた。秀吉は之れを視て、馬廻りの近習に命を下した。『死者は格別、傷者はこの暑さに日を浴びて、如何ばかりか苦痛であらう。進軍中とて手宛は適はぬまでも、切めて暑氣だけ凌がせて遣りたい。見れば峰一つ向ふには、彫だしい見物人が群がつて居る。彼等の被る笠を買ひ上げて、傷者の頭に頂かせて遣はせ。代物は後より取らする程に何にても割符やうの物を遣し置け』この命を帶して近習はバラ〳〵と馳せ向つた。やがて件の見物人等は谷を除えて此方に來り、我が笠を脫ぎ棄てゝは、傷者の頭に被らせたので、農民の頭に頂く笠の無くなつた代り、路傍にうめく傷者の頭には笠を頂かぬ者なきに至つた。之を見た勢共、皆秀吉の仁慈を稱へて、この大將の采配の下に、死することを樂がふに至つたのである。やがて狐塚近くまで馬を進めた。筑前守は只ある小丘に馬を立てゝ、龍手を翳して前方を見てゐたが『心得難い陣所の體ぢや。修理は早や落ちたと見ゆるが、さるにても餘り速かた退き口、甚だ心許ない。ちとばかり追ひかけて見よや、若者共』と、下知した。『心得まいた』と對へもあへず、血氣に逸る馬傍の甲乙、幾多の備を驅け拔けて、敵の動靜を斥候した上、間もなく立ち歸つて復命した。

『敵陣近く馬を進めて、斥候致いて候ふに、茶臼山の彼方、谷を控えた切所を取り切り、其處に金の幣束の馬標を樹て、敵を待つげに候ふが、其勢一千騎の上には、出で申すまじと見えて候ふ。其外は山淺うして、兵を伏すべき處ありとも見え候はず、仍て引き返して候ふ』秀吉は仔細に聞き取つて、

『さてこそ〳〵、柴田修理亮自身彼處の難所に備へて、敵を待つと覺えたわ。いか樣狐塚は足場廣く、小勢を以て大軍を防ぐ地ではない、其嶮を察して陣を移したは、流石老巧な勝家ぢや。面々、容易に進んで過ちすな。危いぞ〳〵』と言ひながら、淺野、蜂須賀、一柳等の陣所を見渡し、兜の緒を緊と締めた。これを見た諸軍も、同じく兜の緒を堅く結び更へた。



入院隨意 京城南大門通三丁目(藤木商店横入る) 胃腸病院 電話一六五九番 院主 佐々木杏造

募集短文

劇に現れた親子と夫婦の自我の衝突

龍山　五十三郎

歌舞伎劇に表はれた親子の自我の衝突は多くあるけれども、之を骨子として脚色されたものでは『一つ家』『矢口の渡』を擧げたい。一つ家は一中節の『石の枕』を改作したもので、石の枕は淺草觀音靈驗記の傳記から作られたものださうである。平賀源內の『矢口の渡』も同じ根據から脚色したのであるまいかと言ふ、劇通の說がある。此の兩者とも戀に囚はれた娘と貪慾な親との自我の衝突を書いたもの一つ家は荒凉たる武藏野の原の中の一軒屋といふ事と靈驗記を脚色した爲に神樣が懲惡して老母炎を屈伏さしてある爲に、換言すれば果して兩者とも同じ根據から出たものとすれば、一つ家が原作に近い所から同じ自我の衝突に於ても幾分親子の間柄といふ溫情が窺はれる。矢口は戰國時代といふ殘忍な背景を設けた爲に全曲の終極まで激烈な衝突をしてゐる。此の外にも親子の自我の衝突は無いでもないけれども、多くの場合に子が親に對して自我を主張する反面には戀が伴ふてゐる。例として八百屋お七などもさうだ、戀は親子の義理人情をも蔑す程盲目なと云ふ事を暗示したものであらう。夫婦間の自我の衝突を脚色したものは少い。情夫と情婦の間は別として大抵な場合女が托屈してる。時雨の炬燵のおさんなどは好い例だ作者が貞操に重きを置く結果であらう近松が男子は女子を虐げてあたと云ふ聲が高くなつたから今後近代劇は別として歌舞伎劇の脚色にも夫婦間の自我の主張と云ふ事が新しい作家によつて試みられるであらう

冬季雜詠

慶北慶山　梅月庵阿水

呪咀の注連朽ち果てゝありけり冬の雨
碧歌遺す獄舍の窓や時雨けり
生別の妻に遭しよ寒念佛
支那や月鍾撲に吊干菜
狂女水死して寒ろ村人が榾火かな
夜祭詣所に燃え殘る榾や人空し
賽へし弓師が庭や榾の灰
騎射外れて昔高くし殘し雉
欄梯子して剩む苔名や冬の割
冬川や杭に朽ちし魳網
冬川や小砂利篩へる人の妻
枯蘆や熊腰干せる巫女の夫

新刊紹介

▲近代文藝雜話(佐々木文學博士) 文士が才に任せて筆を走らせし或は考證、或は研究或は感想、或は批評を集め其多くは江戶時代明治時代に關するものにして流石此人ならではと思ふものあり(定價金九十錢東京市牛込區白銀町二〇育英書院)

▲糖業より見たる沖繩(朝鮮武士子雄) 先づ世界の糖業現勢を說き次に日本の糖業に及び轉じて本論なる沖繩の糖業の發達より現狀、將來に關し說く事詳しく更に沖繩糖業の日本糖業界に於ける地位、其改良を論じ結論として糖業政策を確立し運輸機關の改善を爲し內地資本の投入を呼ぶ(定價金一圓大阪市北區樋崎上三の一七七內外糖業調査會)

▲大陸(二月號) 滿蒙大陸と工業(山田武吉)金融制度の統一(井上大連正金銀行支店長)東蒙土產(胡茄放者)其他可讀(定價二十錢大連監部通り三八大陸社)

◎高千穗高等商業學校學生募集 東京府豐多摩郡和田堀內村高千穗高等商業學校は各府縣中學校及甲種商業學校卒業生中高千穗學校寄宿舍又は自宅より通學の者に限り四月十四日入學試驗の上入學を許可せらるゝ由同校は敷地二萬坪內に完全なる設備を有し東京の郊外にて一致協力の下に懇切なる教育を施し[illegible]の特典を有せる理想學校なりと云ふ

自動車運轉手養成
內外の需要に迫り極て平易無缺の教授書を頒布して急速養成す又實習部にも就職無限收入最多し都會に海外に雄飛を望む士は速に問合さるべし
東京市京橋區南紺屋町 發動機協會

りん病
多年の慢性にも効驗著しき良藥あり只一劑を試よ同病者は切手三錢送れ其良藥と自宅療法の詳細を報ず
名古屋市南かじや町 武藤龜吉
消渴で自宅で秘密に治療し

商況

大阪期米時電

▲賃收額と統計

▲後場の商戰

五日の四月限

壹千反限り
高貴織 帶地無代進呈
高貴織が二回二十錢で買へるとは原糸暴騰の昨今嘘のやうだが現に數年間呉服の格安亂賣を以て評判を取た東京日本橋區本石町一丁目呉服問屋關谷商店が最新流行新機高貴織を前記の馬鹿値で投賣りしつゝあるが目下大山を崩す勢で羽根が生へて飛ぶ賣行き地質といひ光澤といひ一見高價の本場物に負ぬ上等品でタッタ二圓廿錢別製品三圓七十錢といふ大賣出しの記念として一反の注文毎に一筋宛優美高尙な西陣製新柄新形の帶地を無代で出す一風變つた大安賣は世間の評判こそ担なりけり因に地方の希望者は同店宛ハガキで男女別年齡等を記して申込ば柄合親切に選び代金引替送料を實費で送るとの事

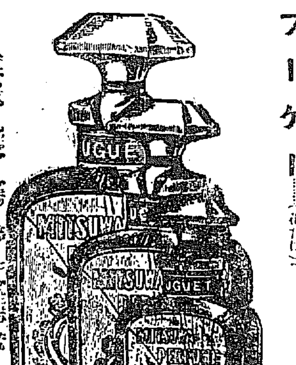
酒煙草きらいになる藥
禁酒丸 禁煙液
どんな酒煙草のみでも害なく心からいやになる藥劵武錢送れば說明書送る
大澤博士の禁酒論進呈
其他名士の
本舖 大阪市南區鰻谷西通二 森田商店

梅毒 自宅治療
世の中に梅毒ほど恐しき病はなく又梅毒ほど金治の見込ある病はなし尙も今日梅毒に苦むへ人の多きは昔時の療法に因循しつゝあるが故なり當研究所の新式自宅簡易療法は醫界の新體に權威ある新藥物の化學作用に依るときは體內に外に排泄して治療の目的を達し從來の療法にて効なき人も試みよ必ず其効果を見る可し
說明書無代 ハガキにて申込め詳細郵送
東京本所相生町一ノ十四番 東京藥理研究所 電本所三二九五、三五〇四番

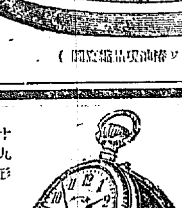
家傳靈藥 ぢの藥
●痔疾一切●大重症之●脫肛●痔瘻●等奇效を現はす靈妙藥「ハガキ」で申込あれば病原理由狀の傳家傳の治療法の小冊進呈
東京日本橋區蠣殼町 小松盛林堂
御買求の際は小松ぢの藥と指命乞ふ

胃病 便秘治癒 溜飲 妙劑
即日奏効 本劑は多年實驗の製劑故急性及慢性の胃病も不思議に治癒す
健胃 快通 胃病かけ快治 大効丸 本舖名古屋 小林盛大堂
一回の服用にて胃腸を健全にし衰弱症を全快し、脚氣及胃病家、精神過勞の人、大酒家等は速に服用せば腸胃を健全にし、食物の消化を助け、逆上を引下げ、つうじを適度にし、且卒中、中風、傳染病を豫防し、無病實に健全長壽の人と成る妙藥なり
一個(二週間分)五十錢二十錢 一ヶ月一圓送料二錢
本舖 名古屋市廣小路一 小林盛大堂
大阪平野町小林東京藥房 東京神田藥井藥局
發賣 全國藥店 書籍店 郵券不苦 迷々給ひ試みす

ミツワ椿油
椿の實を特に內地に取寄せて、皮膚を去り、冷壓法を以て搾取したる、新鮮純良にして、毛髮の衛生に適し色艶を麗しくする
みつわ・つばきあぶら
種類 小壜入 金二十錢 中壜入 金三十錢 大壜入 金五十五錢 特大壜入 金一圓五十錢
◎ミツワ椿油を常用して居ると毛や白毛に早く成り易い憂を除き、毛髮の發育を助けて、凝つて見苦しくなることも無く、裂毛、折毛なき艶々しい濕羽色で、何時も豐かな養分を與へ決してない毛を…
(ミツワ椿油現品寫眞圖)



三百番香水
さんびやくばんかうすゐ
贅澤で、經濟で、而して最も優良な
種類 ヴァ井オレット……(すみれ) ローズ……(ばら) リリー……(ゆり) ムゲット……(花の名) ミモサ……(花の名) ブーケー……(花たば)
◎三百番香水定價 小壜入……金十五錢 中壜入……金一圓五十錢 大壜入……金二圓五十錢 (上記六種の內なれば何れの香ひにても)
◎三百番香水は優雅な香で、長い時間香を保つ六種の香を發賣いたしました。更に追々色々な種類を發賣致します。
◎三百番香水は一壜毎に小壜の見本を添へてありますから、お嗜好に合ふものをお召しになられる便利な香水であります。
(三百番香水現品寫眞圖)
ミツワ家庭藥發賣 ミツワ石鹼 肝油ドロップス 御園化粧品元
東京市日本橋區橘町四丁目 藥種、賣藥品、石鹼、香粧品、小間物問屋 丸見屋商店 電話浪花四〇四八、四〇四九、四〇五〇番 電信略號〇ミヤ 振替東京七一〇番
寶捌…全國到る處のミツワ石鹼販賣店、若し最寄に取次店がなければ本舖へ御注文あれ、郵便小爲替か振替口座にて送金あれば(內地は送料不要)郵送は、代金引換小包郵便にても宜し、東京市內は假令一壜一個にても配達す(市內係浪花四五〇番)



滿蒙處分論 クロパトキン將軍原著 日本大井包高譯 定價金一圓 郵税六錢 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇
致富之寶無代進呈 大阪堂島米穀取引所仲買人
朝米 正 橋本猶作 電話長北三三五〇二、三三四九八 振替口座大阪二四一七二

約百圓の資本に一箇月五百圓 純益ある活動寫眞興行が手輕に出來る新案發錄器械 委細說明書にあり郵券二錢送れ
東京淺草八幡町 大澤商會 振替東京一六六八八

新荷著 アンクル式片側懷中時計
機械堅牢示針正確體裁優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比
十九形 ニッケル側 四圓九十錢 / 十八形 同(機械裝飾) 二圓九十錢 / 十九形 同(兩蓋) 三圓九十錢 / 十六形 銀側 四圓九十錢 / 十八形 ニッケル腕時計 五圓五十錢 / 十八形 金鍍金側 六圓二十錢 / 十三形 同 十四圓 / 二形 同 金鎖付 十五圓 / 十一形 同 フジェール付 四圓五十錢 / 十九形 同 … 八圓五十錢 / 十八形 同 … 十圓五十錢 / 同 鋼鐵製 二十五圓 / 同 十八金 百五十圓
右は今回特に新著の商品にて本商會より直接御注文の方に限り…送料…御申込…

イングレッシー商會 時計蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貨直輸入商 京城本町二丁目 電話九七二番

日本郵船仁川出帆
大連、秦皇島行 砂島丸 二月十八日 正午出帆 / 路丸 二月十二日 正午出帆 / 竹丸 二月十二日 正午出帆
仁川海岸町二丁目 電話十番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航所屈航路 ○鎭南浦航路を除く 門連絡の爲め …
大智丸 二月十五日 午後五時出帆 (鎭南浦、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行)
青辰丸 二月九日 午後五時出帆
平壤丸 二月十二日 午後二時出帆
安東丸 二月九日 午後二時出帆 (木浦、釜山、長崎行)
城津丸 二月十七日
大連行 天佑丸 二月十三日 正午出帆
城津丸 二月廿日
◎木浦、關門、神戶、大阪行 溫州丸 二月六日 後五時出帆
群山、釜山、橫濱行 津州丸 二月十九日 午後四時出帆
チョイサン丸 二月十日
大連直行 大淳丸 二月十四日 正午出帆
チョイサン丸 二月廿六日
清津、浦潮行(元山出帆) 北丸 二月十五日 午後二時出帆
久丸 二月八日
上海、基隆、打狗行(大連出帆) 平丸 二月十日 午前十時出帆
高丸 二月十七日
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡運送 ○聯絡切符發賣仕候 ○乘船客は本船出帆約一時間前迄に御乘船相成度候 ○×印は一等客御斷り △印は船客御斷り
御注意
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二番、二一〇番、五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番
中國四國沿岸各港行船客に對し五分の間門司より五割引を以て聯絡乘船切符發賣仕候

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行 文神丸 二月八日後五時出帆
○元山清津浦鹽行 立神丸 二月十七日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行 小倉丸 二月十五日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 二月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 二月十九日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 二月七日 後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天馬丸 毎月二日九日十六日廿三日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
第一共同丸 芝罘、大連行 二月六日 後二時出帆
切朝鮮鐵道主要驛にて內外客運…大連にて南島行定期船に接續…
第一阪鶴丸 城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 月日 後九時出帆
第三共同丸(元山出帆) 西湖津沿岸各港を經て雄基行 月日 前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目 電話一〇八番 山下回漕部
仁川代理店 元山代理店 田口回漕部
京城取次店 南大門通 電話二六八、二〇一 河村運送店

朝鮮郵船
全羅丸 二月十二日 / 京畿丸 二月廿二日 / 黃海丸 二月十六日 / 成鏡丸 二月六日 (門司より釜山各港寄港) 釜山發
穩城丸 二月十三日 / 昌平丸 二月十一日 / 鏡城丸 二月七日 元山より各港經由雄基行 元山發
永興丸 毎月廿八日 北久味、五里浦行 元山發
盈德丸 二月十四日 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港 釜山發
江陵丸 / 襄陽丸 毎日 長生浦、方魚津寄港 釜山發
三浦丸 二月八日 長承浦、巨文島、濟州寄港 釜山發
海州丸 / 杭營丸 巨濟丸 / 慶尙丸 毎日 統營寄港 釜山發
順天丸 三日目毎 各港經由麗水行麗水より鎭海行 木浦發
慶興丸 二月十二日 各港經由濟州島行(四回) 木浦發
公州丸 二月十一日 南多島海列島行(月三回) 木浦發
公州丸 二月七日 各港經由濟州島行 木浦發
全州丸 二月十九日 海州他各港經由、鎭南浦又は仁川行 仁川發
江原丸 二月十五日 芝罘、大連、青島行 仁川發
麗水丸 / 晉州丸 二月七日 各港經由木浦行 仁川發
錦江丸 / 南陽丸 毎日午前 江華島、桐蔭島、海州行 仁川發
鐵道及北外船と荷客連帶輸送の便あり詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會を乞ふ
京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店 電話一二七〇番

尼崎汽船仁川出帆
○群山木浦釜山下關神戶大阪行
秀吉丸 二月九日 後四時出帆 / 大有丸 二月十二日 後四時出帆 / 神代丸 二月五日 後四時出帆 / 蛟龍丸 二月十五日 後四時出帆 / 君が代丸 月 日 後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部